19 アラーム

この章では、GP-Pro EX の「アラーム」を使った表示・操作について、その他アラームを使った便利 な機能について説明します。

まず「19.1 設定メニュー」(19-2 ページ)をお読みいただき、目的に合ったアラームの説明ページへ 読み進んでください。

19.1	設定メニュー	
19.2	アラームメッセージを流したい	19-7
19.3	発生中のアラームを一覧したい	
19.4	アラーム履歴を確認したい	
19.5	アラーム履歴を操作したい	
19.6	対処方法(サブ表示)を表示したい	
19.7	ラインごとにアラームを見たい	
19.8	CF カード /USB ストレージにアラーム履歴を残したい	
19.9	アラーム発生時のデータを取得したい	
19.10	設定ガイド	
19.11	制限事項	
19.12	アラーム機能一覧	

19.1 設定メニュー











19.2 アラームメッセージを流したい

19.2.1 詳細

監視するビットアドレスが ON すると、画面にアラームを流します。



表示例

単独のアラームが発報した場合





の流れ方向

現在発生しているアラームを すべての画面で流します。

複数のアラームが発報した場合





現在発生しているアラームを すべての画面で流します。 終了時の表示

単独のアラームが発報した場合

アラームが発報している間、繰り返しアラームメッセージを流れ表示します。アラームが復旧して も、いったん表示されたアラームメッセージは最後まで表示します。



複数のアラームが発報した場合

発報しているすべてのアラームメッセージを繰り返し表示します。途中、「コンベア停止」が復旧し た場合、いったん表示された「コンベア停止」のアラーム表示を最後まで表示し、その後「電圧異 常」の表示を繰り返します。「電圧異常」が復旧しても、いったん表示された「電圧異常」は最後ま で表示されます。



アラームメッセージ(流れ表示)の表示位置

アラームメッセージ(流れ表示)は GP 画面の下部に表示されますが他のシステムメニューウィンド ウの表示状態によっては上部に表示されることがあります。

通常の表示



日本語 FEP やシステムメニューと組み合わせた場合の表示



アラームメッセージ(流れ表示)が画面上部に表示されているときに日本語 FEP やシステムメニューを閉じると、アラームメッセージは下部に移動します。

19.2.2 設定手順

MEMO ・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(流れ)の設 定ガイド」(19-93 ページ)



1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 🛃 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

📃 ベース 1 (無題	D) 🗙	ຢ Pラ-	ъ 🗙				4 ▷ ×
アラーム設定	🗌 文字	列テーブル	を使用す	#3 (🗊	語設定	日本	
共通設定 ブロッ	ゆ1 ブロ	コック2 ブ۱	ロック3 [1	ブロック4 📔	ブロック5	∫ ブロック6	לפעם ל לעם ל
ブロック設定							
履歴記憶数	E.	<u>م</u> ال	[1 グ	アク	ティブ	□ 履歴のバックアップをおこなう
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
No. 1	~	128	~	128	~	128	电源なくですのアンニム市田売車川F
No. 2							◎ 新規アラームとして表示
No. 3							
No. 4							
No. 5							
No. 0							コントロールワードアドレス
No. 7							
110.0							
□ 印字設定							□ クループ機能を使用する
© リマル <i>ねく</i> 5	印字	0-#	細室		印字	フォーマット	アラーム発生回数書込み先頭アドレス
C ST IV ST DA	-1-1	, ,	0-1- J		-1-1		(内部デバイスワードアドレス)
印字ワードアド	レス						
完了ビットアド	レス						
		-					
	±	<u> </u>					
流れ表示を1	芝用する	<u>ر</u> ا	(পরাইনেং	1111H90			

2[流れ表示を使用する]にチェックを入れます。

☑ 流れ表示を使用する	□ サマリ表示を使用する

3 次のような確認メッセージが表示されたら [はい]をクリックします。 [流れ]タブが表示されます。



4 [ビットアドレス]にアラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。(例:M1000)

■をクリックすると、アドレ ス入力用キーボードが表示さ れます。

デバイス「M」を選択し、アド レスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。



5 [メッセージ]にアラーム発生時に流したいメッセージを入力し、[文字カラー]、[背景カラー]、 [ブリンク]をそれぞれ設定します。

📃 ベース1(無題)	🗙 💕 Рラーム 🗙			
アラーム設定	□ 文字列テーブルを使用	用する 言語設定	日本語	V
│共通設定│ブロック	ום ל לפים ל לפים ל	ック4 [ブロック5 ブロック	6 🗍 סֿפּעַם דָ 🗍 דֿפֿעָם דָ	売れ
文字カラー 🔽 背景カラー 💻	7 J ブリンク 無し I	フォント 標準コ	フォント ▼ サイズ ャンプ <u>自動割付</u>	8 x 16 💌
No.	Ε̈́νトアドレス	- يارولو	2 <u>1</u>	発報時印刷
1 [PLC1]M	001000 圧力異	「「「」」		OFF
2				
3				

MEMO	・ アラームメッセージは 512 個まで登録できます。
·	・ 監視ビットアドレスはアラームメッセージ (流れ表示) 全体で 128 ワード以内に収
	めてください。
	・1つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角160字までです。
	• [文字列テーブルを使用する] にチェックを入れると、システム運転中でもメッセー
	ジの言語を切り替えて表示できます。
	☞ 「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15 ページ)
	• [アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]でき
	ます。
	• 接続機器設定にて「メモリリンク」、ポートにて「イーサネット」を選択し、「メモ
	リリンク流れメッセージ表示設定]を設定している場合は、アラームの流れ表示は
	できません。両方設定した場合はエラーとなり転送できません。どちらか一方のみ
	設定してください。
	• プロジェクトデータの転送をしなくても、起動時や任意のタイミングでアラーム
	メッセージを外部メモリから読み込んで更新させることができます。

^(②)「17.7 データ転送をせずに文字列テーブルを変更したい」(17-37 ページ)

設定内容の詳細は以下を参照してください。

19.3 発生中のアラームを一覧したい

19.3.1 詳細

監視するビットアドレスが ON すると、画面にアラームをリスト表示します。



19.3.2 設定手順

MEMO ・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

⁽³⁾「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(サマリ)の 設定ガイド」(19-96 ページ)

☞ 「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド サマリ表示」(19-131 ページ)

部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
 を参照してください。

(3~「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)



1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 🛃 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

[二 ベース1(無題) X 🔮 アラーム X [1] [2]							
アラーム設定	□ 文字	列テーブル	を使用す	73 (T	語設定	旧本	
共通設定 ブロッ	カーブ	コック2 ブロ	ו 3לענ	ブロック4	ブロック5	ブロック6	
ブロック設定							
履歴記憶数	E.	지민	[ט <u>ל</u> ב	アク	ティブ	🥅 履歴のバックアップをおこなう
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	
No. 1	~	128	~	128	✓	128	
No. 2							◎ 新規アラームとして表示 ○ 継続アラームは表示しない
No. 3							
No. 4							□ 外部操作
No. 0							
No. 7							コントロールワードアドレス
No. 8							完了ビットアドレス
							, <u> </u>
							□ ガル _ プが後ち使用する
							□ クループ1版配で10月90
🙃 リアルタイム	印字	O#	和字		印字	フォーマット	アラーム発生回数書込み先頭アドレス
							(内部デバイスワードアドレス)
印字ワードアド	レス					-	
完了ビットアドレ	ス					-	
	±	<u> </u>		-/===+7			
二 流れ表示を!!	史用する	1 14	ツ表示を	印史用する			

2 [サマリ表示を使用する]にチェックを入れます。

3 次のような確認メッセージが表示されたら[はい]をクリックします。[サマリ]タブが表示されます。

	GP-Pro EX サマリ表示が使用できます。 サマリ表示の設定に移行しますか? していえい していたい	
📮 ベース1(無題) 🗙 🛃 アラーム 🗙		$\triangleleft \triangleright {\boldsymbol{x}}$
アラーム設定 🔽 文字列テーブルを使り	用する 言語設定 日本語	エクスポート インポート
「共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロッ	אַלאים ד לאים ד אָלאים ד אָלאים ד אָלאים ד	
文字カラー 🔲 7 💽 ブリンク 無し 💌		
背景カラー 🔳 🔳 ブリンク 無し 💌	ジャンプ 自動割付	
No. ビットアドレス	メッセージ	<u> </u>
2		
4		
5		

4 [ビットアドレス]にアラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。(例: M1000)

をクリックすると、アドレス入力用キーボードが表示されます。

デバイス「M」を選択し、アド レスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。



重要

5 [メッセージ]にアラーム発生時に表示したいメッセージを入力し、[文字カラー]、[背景カラー]、 [プリンク]をそれぞれ設定します。

🛄 K-7	、1 (無題) 🔀 💋 アラーム	X					
アラーム部	設定 🗌 文字列テー	ブルを使用する	言語設定	日本語	V		
共通設定	: [שָׁרָש לּר] לעים דֹ	ウ3 ブロック4 ブ	ロック5 ブロック6	לפים ל 70יים ל	שקע		
文字カラー □7 ▼ ブリンク 無し ▼ 背景カラー ■0 ▼ ブリンク 無し ▼ <u>ジャンプ 自動割付…</u>							
No.	ビットアドレス			الج	wtz-33		
1	[PLC1]M001000	圧力異常					
2	[PLC1]M001001	温度異常					
3	[PLC1]M001010	Cタンク停止					

- 監視ビットは重複しないアドレスを設定してください。重複した場合、登録番号 (行番号)が最小のアラームメッセージしか表示されません。
 - 1 画面に表示させたいメッセージの監視ビットは、連続ワード内に収まるよう設定してください。監視ビットを種類の異なるデバイスに設定している場合や、同じデバイスでも連続ワード内に設定していない場合は、同一画面上にメッセージを表示させることができません。

MEMO • アラームメッセージは 8999 個まで登録できます。

- ・1つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角160字までです。
- 〔文字列テーブルを使用する〕にチェックを入れると、システム運転中でもメッセージの言語を切り替えて表示できます。
 (3)「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15 ページ)
- [アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]でき ます。
- 6 作画画面を開き、サマリ表示するアラーム部品を設定します。[部品 (P)] メニューの [アラーム (A)] を選択するか、 🧕 をクリックし、画面に配置します。

	ベース	1()	D		アラーム	×					
					1		2			3	
	_										
			_								
					_			_			
			Ц Ц	ate	Tric	<u>Mes</u>	sea	qe	Ack	Recov	
		· ·									
						1					
1											
								_			
											· ·
								1			
		- ·									
2											
-											

7 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。[サマリ表示] を選択します。

<i>8</i> €75-L		×
部品ID AD_0000 <u>二</u> コメント	基本設定 カラー設定 表示設定	
	表示形式 監視先頭ワードアドレス [[PLC1]D00000 ▼ ■ 監視ワード数 「 ■ 表示文字数 34	
アラーム登録		
<u> ヘルプ(H)</u>	OK(Q) キャンセル	

8 [監視先頭ワードアドレス]に、[アラーム設定]で登録したビットアドレスをワード単位 (16 ビット 単位)に換算したときの先頭アドレスを設定します。

例えば、登録した監視ビット「M1000」のメッセージをサマリ表示する場合、M992 ~ M1008 が1 ワード分となるので、[監視先頭ワードアドレス]には「M992」を設定します。



9 [監視ワード数]で監視ビットアドレスが[監視先頭ワードアドレス]から何ワードにわたって割り 付けられているか指定します。(例:2)

監視ワード数	2	- #	
--------	---	-----	--

10 画面に表示するメッセージの [表示文字数]、 [表示開始行]、 [表示行数]を設定します。

表示文字数	40	- #
表示開始行	1	=
表示行数	10	=

11 [カラー設定] タブでアラームメッセージがクリアされたとき(復旧したとき)の色を設定し、[表示 設定] タブでメッセージのフォントやサイズを設定して、[OK] をクリックします。

MEMO	• アラーム部品[サマリ表示]はベース画面1つにつき、1個のみ設定できます。1つ
	の画面で複数表示したい場合は、アラーム部品[サマリ表示]を設定したウィンド
	ウ画面をウィンドウ部品で呼び出して表示してください。
	 1つのアラームメッセージに登録できる最大文字数は半角160文字、1画面に表示で
	きる最大行数は 50 行ですが、GP 上で表示する場合の 1 行の最大表示文字数や 1 画
	面での最大表示行数は GP の機種および文字サイズの設定によって決まります。
	• 設定された表示エリアに収まりきらない長さのアラームメッセージがあった場合、
	あふれた部分は表示されませんのでご注意ください。
	• 複数画面にアラーム部品[サマリ表示]を設定することにより、プロジェクト全体
	では最大 1600 個のアラームメッセージがサマリ表示できます。
	• アラーム部品[サマリ表示]の表示エリアは、他の部品や図形と重ならないよう配
	置してください。

19.4 アラーム履歴を確認したい

19.4.1 詳細

監視するビットアドレスが ON (/OFF) すると、または監視するワードアドレスに警報値が書き込ま れると、アラームが発生した日時とともにアラーム内容がリスト表示されます。表示方法は「アク ティブ」「ログ」「ヒストリ」の3種類あります。



19.4.2 設定手順

ビット監視

MEMO	• 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
	^{ເᡒᆕ} 「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(ブロック1) の設定ガイド ビット監視」(19-82 ページ)
	☞ 「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示」(19-99 ページ)
	 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」 を参照してください。
	☞「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

監視ビットアドレスが ON するとアラーム内容が発報日時とともに表示されます。OFF すると同じ行 に復旧時刻が追加で表示されます。



1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 💕 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

■ ベース 1 (無題	ズース1(無題) X 🛃 アラーム X									
アラーム設定 □ 文字列テーブルを使用する 言語設定 □ 日本語 □ 1/2.ポート インポート										
共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8										
ブロック設定										
履歴記憶数	Ľ	ストリ	[ט <u>ט</u> ר	アク	ティブ	□ 履歴のバックアップをおこなう			
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数				
No. 1	~	128	✓	128	~	128				
No. 2							● 新規アフェムとしく表示 し 補続アフェムは表示しない			
No. 3										
No. 4	<u> </u>				<u> </u>		□ 外部操作			
No. 5										
No. 7							コントロールワードアドレス			
No. 8							完了ビットアドレス			
							, <u> </u>			
□ 印字設定							□ グループ機能を使用する			
🖸 ሀፖルタイム	印字	O −‡	和字		印字	フォーマット	アラーム発生回数書込み先頭アドレス			
							(内部デバイスワードアドレス)			
印字ワードアド	レス					-				
完了ビットアドレ	ス					-				
		,								

2 [ブロック設定]でメッセージを登録するブロックの、使用する表示モード(ヒストリ/ログ/アク ティブ)にチェックを入れ、それぞれの履歴記憶数を設定します。

ĺ	📮 ベース 1 (無題) 🔀 🛃 アラーム 🔀											
	アラーム設定	語										
	共通設定 ブロッ	カーブロ	コック2 ブロ	באלים <u> </u>	ブロック4	ブロック5	ブロック6	לפעם ל לפעם ל				
	ブロック設定											
	履歴記憶数	E)	자민	[ログ	アク	ティブ	📋 🔲 履歴のバックアップ				
	ブロック	使田	記時對	使田	記憶對	使田	司门侍英加	一番酒店北日本のフロ				
	No. 1	~	128	~	128	~	128	電源投入時のパコ				
	No. 2							💿 新規アラームと				
	NL O											

3 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

▶ 履歴のバックアップをおこなう									
電源投入時のアラーム継続動	電源投入時のアラーム継続動作								
○ 新規アラームとして表示	● 維続アラームは表示しない								

- **重要** [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データは GP の 電源 OFF やリセットにより消去されます。
- 4 [ブロック1]タブを開き、[ビット監視]を選択します。

🛄 K-2	ス1(無題) 🛛 💋 アラ	-L 🗵			
アラーム副	定 🗌 文字列テ	ーブルを使用する	言語設定	日本語	•
共通設定	ブロック1 ブロック2 ブ		ブロック5 ブロッ	ック6 ブロック7	ブロック8
 ビット監 	記, ○ ワード監視				-□ 各アラ-
	ジャンプ <u>自動割付</u>	🗸 ይአይነ	✓ Dグ ✓	アクティブ	設定アドレ
No.	ビットアドレス	発報条件		メッセー	-ÿ
1		and a second sec			
2					

5 [ビットアドレス]で、アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。(例:M1000)



6 [発報条件]のセルで、監視ビットアドレスの ON でアラームを発報するか、OFF で発報するかを選 択します。



7 [メッセージ]にアラーム発報時に表示するアラームメッセージを入力します。

🛄 KH2	ス1(無題) 🗵 🛃 アラーム	×		
アラーム語	設定 🗌 文字列テーブル	を使用する	言語設定 日本語 👤	
共通設定	: ブロック1 ブロック2 ブロック	3 ブロック4	ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8	
● ビット監	読礼 ○ ワード監視		- 各アラーム登録	しんしょう しんしょ しんしょ
	ジャンプ <u>自動割付…</u>	🗸 ヒストリ	✓ ログ ✓ アクティブ	
No.	ビットアドレス	発報条件	1012-3	
1	[PLC1]M001000	ON	圧力異常	0
2	[PLC1]M001001	ON	温度異常	0
3	[PLC1]M001002	ON	材料不足	0
4				
		<u>م الم الم الم</u>		
МЕМО	• 1 J0// J = A	メッセーン	ノに豆球できる乂子奴は、千用 160 子よ(CC9.
	• [文字列テーブ)	ルを使用す	「る」にチェックを入れると、システム運	転中でもメ
	ジの言語を切り	替えて表	示できます。	

^(②)「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15ページ)

- [アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]でき ます。
- 8 作画画面を開き、アラームを表示するアラーム部品を設定します。[部品 (P)] メニューの [アラーム (A)] を選択するか、 🧶 をクリックし、画面に配置します。

C	🛄 K-71 (1990) 🛛 🖂 🛛										
		0 • • • • • • • 1 • • • • • • • 2 • • • •									
-		-									
-											
:											
-											
:											
-											
-											

9 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💰 アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0000		<u>>>言羊細</u>
אלאב 		
	表示形式	
	表示ブロック 表示モード	
マニュノ登録		
<u></u>		
ヘルプ(円)	OK(Q)	キャンセル

- 10 アラーム部品に表示するブロックと表示するモードを設定します。
- 11 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。
- 12 必要に応じて[項目設定]タブ、[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。

ワード監視	1	
MEMO	•	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
		「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(ブロック1)の設定ガイド ワード監視」(19-86 ページ)
		☞「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示」(19-99 ページ)
	•	部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」 を参照してください。
		☞「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

監視ワードアドレスに警報値が書き込まれると、アラーム内容が発報日時とともに表示されます。警報値以外の値が書き込まれると、同じ行に復旧時刻が追加で表示されます。



1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 💕 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

📮 <											
P5-ム設定 □ 文字列テーブルを使用する 言語設定 □本語											
共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック6 ブロック6 ブロック7 ブロック8											
ブロック設定											
履歴記憶数	E)	ストリ	[ט <u>ל</u> ב	アク	ティブ	□ 履歴のバックアップをおこなう				
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
No. 1		128		128		128	◎ 新規プラームとして表示				
No. 2							O WIND DECEMPTON ON DAMAGE OWN				
No. 4											
No. 5							□ 外部操作				
No. 6							コントロールワードアドレス				
No. /											
140.0											
□ 印字設定							□ ガループ継続を使用する				
💿 リアルタイム	© リアルタイム印字 C 一括印字 印字フォーマット アラーム発生回数書込み先頭アドレス										
印字ワードアドレス (内部デバイ)							(内部デバイスワードアドレス)				
	-										
元了ビットアドし	14										

2 [ブロック設定]でメッセージを登録するブロックの、使用する表示モード(ヒストリ/ログ/アク ティブ)にチェックを入れ、それぞれの履歴記憶数を設定します。

📮 ベース 1 (無題) 🗙 🛃 アラーム 🔀												
アラーム設定	🗌 文字	列テーブル	を使用す	お言	語設定	日本	語					
共通設定 ブロッ	クリーブロ	コック2 ブに	コック3 [1	ブロック4 📔	ブロック5	ブロック6	ブロック7 ブロック8					
ブロック設定												
履歴記憶数	E - E	자민	[טֿט	アク	ティブ	🗌 履歴のバックアップ					
ブロック	使用	日本の主義	使用	日本語を見た	使用	ミコル会選択 日日 小田 泉大	一面海切り時のフロ					
No. 1	~	128	~	128	~	128	电源技入時のアン					
No. 2							◎ 新規アラームと					
N= 0												

3 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

F
◎ 継続アラームは表示しない

1 要 • [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データは GP の 電源 OFF やリセットにより消去されます。

4 [ブロック 1] タブを開き、[ワード監視]を選択します。

🛄 KH2	ス1(無題)	🛛 💕 アラーム	×			
アラーム語	定	🔲 文字列テーブル	を使用する	言語設定	と 日本語	
共通設定	ブロック1	ブロック2 ブロック	3 ブロック4 1	ブロック5	ブロック6 ブロック7	7 ブロック8 -
○ ビット監	謉 📀	ワード監視	データ形式	DEC	▼ □ 符号+/-	日本
	ジャンプ	自動割付	🗸 ይጊዞፓ	70 🗸	🗸 アクティブ	言文JE /
No.	7	ードアドレス	発報条件		łek	ュージ
1						
0						

5 [データ形式]で[ワードアドレス]に格納される[警報値]のデータ形式を選択します。

MEMO • データ形式が [DEC] の場合のみ [符号 +/-] が設定できます。

6 [ワードアドレス]でアラームの発報を監視するワードアドレスを設定します。(例:D102)

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。 デバイス「D」を選択し、アド レスに「102」を入力して 「Ent」キーを押します。

No. フードアドレス 1 2 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	アドレス入力 × Báčk PLC1 ・ D • 102 Back - Chr A B C D E 7 4 5 6 1 2 3 0 Ent	No.	ワードアドレス : [PLC1]D00102 [F
--	---	-----	------------------------------

7 [発報条件]でセルをクリックし、 をクリックすると[発報条件設定]ダイアログボックスが表示されます。

29/末回·索 /4	於発報条件設定	<
9£¥18;;;;]+	□ 範囲指定	
	警報値 🛛 💼 🗮	
		1
	OK(Q) キャンセル	

8 ビット長を選択し、警報値を設定 (例:100) して [OK] をクリックします。

9 [メッセージ]にアラーム発報時に表示するアラームメッセージを入力します。

🛄 K-	ス1(無題) 🛛 🛃 🍞	ラーム 🗵		
アラーム語	設定 🗌 文字列引	テーブルを使用する 言語	語設定 日本語	•
共通設定	ブロック1 ブロック2 :	ブロック3 ブロック4 ブロッ?	ウ5 ブロック6 ブロック7	ブロック8
○ ビット監	 説 ● ワード監視 ジャンプ 自動割付 	データ形式 DEC くとストリ く [▶ ▶ ▶ 〒 符号+/- 1ヴ ✔ アクティブ	日 各アラーム登録でデータ取 設定アドレス数 1 日 日
No.	ワードアドレス	発報条件		メッセージ
1	[PLC1]D00102	[PLC1]D00102 = 100	圧力異常	
2	[PLC1]D00103	[PLC1]D00103 = 0	温度異常	
3	[PLC1]D00104	[PLC1]D00104 = 1000	材料不足	
4				

MEMO

1つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角 160 字までです。

• [文字列テーブルを使用する] にチェックを入れると、システム運転中でもメッセージの言語を切り替えて表示できます。

「3[®]「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15ページ)

- [アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]でき ます。
- 10 作画画面を開き、履歴表示するアラーム部品を設定します。[部品 (P)] メニューの [アラーム (A)] を 選択するか、 🧶 をクリックし、画面に配置します。

	ベース	1(無證			アラーム	×				
) · · ·			1		2		3	
-		_	_	_	_	_	_	_	_	_
1										
0										
			·							
			Dat	-e	Triq	Mes	saqe	Ack	Recov	
- I - I										
ī										
-										
2										
- II - I										

11 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

ℰアラーム		×
は 部品ID AD_0000 三 メント	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状 シ注紙	
	版歴表示	
	表示行間	
アラーム登録		
ヘルプ(円)	OK(Q) ++>>	216

- 12 アラーム部品に表示するブロックと表示するモードを設定します。
- 13 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。
- 14 必要に応じて[項目設定]タブ、[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。

- アラームメッセージ(履歴)は2048個まで登録できますが、GP上で記憶できるア ラームメッセージは[動作モード]の[ヒストリ]、[ログ]、[アクティブ]全体で 768個までです。IPCを使用している場合はアラーム履歴全体で10,000個まで記憶 できます。
 - 複数のブロックを使用している場合は、全ブロックの合計が768個までのアラーム メッセージを使用できます。

(学「19.7 ラインごとにアラームを見たい」(19-47 ページ)

- ・ 監視ビットアドレス、監視ワードアドレスはアラームメッセージ(履歴)全体で 256 ワード以内に収めてください。
- GP 上で表示する場合の1行の最大表示文字数や、1画面での最大表示行数は、GP の機種および[文字サイズ]の設定によって決まります。
- 設定された表示エリアに収まりきらない長さのメッセージがあった場合、あふれた 部分は表示されません。
- [ワード監視]の場合、警報値の前後を頻繁に行き来するような値が[ワードアドレス]に格納されると、アラームが頻繁に発報します。



例)[警報値]100の場合

MEMO

19.5 アラーム履歴を操作したい

19.5.1 詳細

アラームメッセージの表示を操作するスイッチを設定します。 表示のスクロールや並び替え、選択したアラームメッセージの確認・消去などの操作ができます。



19.5.2 設定手順

MEMO ・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

- ⁽³⁾「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示 スイッチ設定」(19-124 ページ)
- 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
 を参照してください。

^(愛) 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)



 1 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが表示されます。[スイッ チ設定]タブを開き、使用するスイッチの項目にチェックを入れます。

\delta アラーム	×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状
AD 0000 👘 AD 0000 👘 スタント	開始 入イッチ 選択 マ 開始 全クリア 終了 全クリア 逆 終了 スイッチ銘板 確認 フォントタイプ マ 確認 マオントタイプ 学 確認 マオントタイプ 家示言語 日本語 文字カラー 7 浴板 CLR ALL ALL
アラーム登録	□ ールアック

- 2 [形状選択]をクリックし、スイッチの形状を選択します。
- 3 [スイッチ選択]でスイッチを選択し、それぞれのスイッチの銘板に[フォントタイプ]、[表示言語]、 [文字カラー]、[銘板]を設定します。
- 4 必要に応じて[スイッチカラー]でスイッチの色を設定します。

MEMO • スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

- スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。
- スイッチの形状や色は、1つのアラーム部品につきどのスイッチの種類を選択して も共通です。スイッチごとに形状や色を変えたい場合は、スイッチランプ部品[特 殊スイッチ(アラーム履歴用スイッチ)]を使用してください。

「10.15.4 特殊スイッチ スイッチ機能 アラーム履歴用スイッチ」(10-69 ページ)

5 [カーソル形状] タブをクリックし、[カーソル形状] で[反転]を選択して[OK]をクリックします。

「基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定(カーソ	1形状
_カーソル設定	
カーソル形状 反転 ・ 1ドット ・	
□□ カーソル位置	
格納ワードアドレス	
■ カーソル移動ごとにカーソル位置を取得	



 アラーム部品(履歴表示)用スイッチが使用できるのは1画面上、アラーム部品が 1つの場合のみです。



アラーム部品(履歴表示)用スイッチを使用する場合は同一画面上に設定してください。それ以外の画面に設定された場合は動作しません。



- [発生回数全クリア]、[累積時間全てクリア]、または[累積時間個別クリア]のス イッチを押すと、発生回数、累積時間の表示を消去するだけでなく、GPのバック アップ SRAM 内に保存されていた発生回数、累積時間も消去(0クリア)されます のでご注意ください。
- ・並び替えスイッチが配置されている場合、各種並び替えスイッチ([発生時間の新しい順]スイッチ以外)を押したときや、画面切り替え時の画面の更新に通常より も時間がかかる場合があります。
- [レベル高&発生日時の新しい順]など2項目同時に並び替えをして表示するには、 通常の表示よりも時間がかかります。

19.6 対処方法(サブ表示)を表示したい

19.6.1 詳細

ベース画面切替







アラームメッセージを タッチすると、その内 容に応じて別の画面に 切り替わる

画面切り替えスイッ チでアラームの画面 へ戻る

テキストウィンドウ表示



アラームメッセージを タッチすると、その内 容に応じたテキスト ウィンドウを表示





ウィンドウ消去用ス イッチでテキスト ウィンドウを閉じる

19.6.2 設定手順

ベース画面切替

 ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

 『デ「10.15.3 画面切替スイッチ スイッチ機能」(10-65 ページ)
 『デ「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(プロック1)
 の設定ガイド」(19-82 ページ)

 『デ「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示」(19-99 ページ)

 • 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」

☞ 「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)



アラームをタッチすると別画面に切り替わります。

- 1 サブ表示で切り替えたいベース画面を作成します。[画面(S)]メニューから[画面の新規作成(N)]を 選択するか、[●] をクリックすると[画面の新規作成]ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [画面番号]でサブ表示するベース画面の番号(例:10)を設定し、[新規作成]をクリックします。

🏄 画面の舞	所規作成 🔰 🔁
画面種別	<u> </u>
画面番号	10 🕂 🏢
タイトル	アラームの対処方法1
テンプレー	トを使用
一覧加	パらテンプレートを選択
最近的	<u>まったテンプレート</u>
	新規作成 キャンセル
3 ベース画面「10」が表示されるので、サブ表示するベース画面を作成します。



4 サプ表示画面からアラーム部品配置画面に切り替えるスイッチを配置します。[部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [画面切替スイッチ (C)]を選択するか、 ● をクリックし、画面に配置し ます。



5 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

 部品 ID SL 0000 □ コメント ブ スイッチ 機能 マルチファンクションリスト 画面切替スイッチ 通常 形状なし 道加 可加 可加 可加 可 市時 可 可 市時 可 可 市時 可 市 市	参えイッチ/ランプ	×
	※ スイッチ/ランプ 部品ID SL_0000 当 コメント □メント 通常 形状選択	× スイッチ機能 マルチファングションリスト 画面切替スイッチ 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作 画面切替動作
ヘルプ(H) OK(O) キャンセル	F 形状なし へルブ(H) 1	道加 前原金 可原金 二ピーして追加 「株作ログの取得

- 6 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。
- 7 [画面切替動作]で画面切り替えの動作を選択し、切り替え先の画面番号 (例:1)を設定します。
- 8 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。これでサブ表示用の画面作成は完了です。



9 次にアラーム発報時に表示するメッセージを登録します。

[共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 🛃 をクリックすると、次の画面 が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

📃 ベース 1 (無器		🛄 KH7	K 10(ም5	ラームの対	処方)	2 🚱 7	
アラーム設定		文字列:	テーブルマ	を使用する		設定	
共通設定 ブロッ	ヮ゚゚゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙ヮ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	コック2 ブ	ロック3	ブロック4	ブロック5	ブロック6	לאיםל דפאיסד ד
ブロック設定							
履歴記憶数	E.	ストリ		ログ	アク	ティブ	🥅 履歴のバックアップをおこなう
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	
No. 1 No. 2 No. 3 No. 4 No. 5 No. 6 No. 7 No. 8		128		128			 ⑥ 新規アラームとして表示 ⑦ 継続アラームは表示しない ● 外部操作 コントロールワードアドレス ○ 定 ○ デアビットアドレス
□ 印字設定							□ グループ機能を使用する
© リアルタイム 印字ワードアト 完了ビットアド	印字 ドレス レス	0 -4	卸字		印字	7#~~vyŀ ▼ @	アラーム発生回数書込み先頭アドレス (内部デバイスワードアドレス)

- 10 [ブロック設定]でメッセージを登録するブロックの、使用する表示モード(ヒストリ/ログ/アクティブ)にチェックを入れ、それぞれの履歴記憶数を設定します。
- 11 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

 ▲ [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データはGPの 電源 OFF やリセットにより消去されます。

12 [ブロック 1] タブを開き、[ビット監視]を選択します。

🛄 KH7	、1 (無題) 🛛 📕	ベース 10	(アラームの対対	処方…) 🗵	🛃 アラーム	×
アラーム語	定 口文	字列テーブル	レを使用する	言語設定	包 日本語	<u>i</u>
共通設定	יים" (לעים"	ウ2∫ブロッグ	3 [ブロック4] 1	ブロック5 つ	ブロック6 ブロッ?	לפים ד 71
・ ビット監	 説 0 ワード監 ジャンプ 自動 	視 <u>割付…</u>	🗸 ይጋይህ	🗸 סט	🗸 アクティブ	- <mark>- 日</mark> 各7 設定ア
No.	ビットアドレ	ス	発報条件		بلا تلا	ッセージ
1						
2						
0						

13 [ビットアドレス]で、アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します(例: M1000)

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。 デバイス「M」を選択し、ア ドレスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。



14 [発報条件]のセルをクリックして監視ビットアドレスの ON でアラームを発報するか、OFF で発報 するかを選択します。

	🛄 K-7	、1(無題)	×	ベース 10)(アラームのネ	寸処方…)	🛛 🖾 🧯	🖉 アラーム	×	
	アラーム影	定	□ 文字	■列テーブ	ルを使用する	5 言	語設定	日本	Ā	
ĺ	共通設定	ブロック1	ブロック2	2 ブロック	73 ブロック4	יעם"	ウ5 ブロ	i≫⁄26 ブロッ	ック7 ブロ	1ック8
	● ビット監	視 〇 「	フード監視	見					[- [] 各7
		ジャンプ	自動書	- 咐 <u>时</u>	V E2H) 🗸 (ט מ	🖊 アクティブ		設定ア
	No.	Ĕ	ットアドレス	λ (発報条件	ŧ			メッセージ	
	1	[PLC1]M00	1000		ON	•				
	2				ON					
	3				OFF					
	4									
	E									

- 15 [メッセージ]にアラーム発報時に表示するアラームメッセージを入力します。
 - MEMO
 1つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角160字までです。
 [文字列テーブルを使用する]にチェックを入れると、システム運転中でもメッセージの言語を切り替えて表示できます。
 (プ) 「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15ページ)
 [アラーム]の設定内容は、CSV形式で[エクスポート]または[インポート]できます。
- 16 サブ表示画面の番号を設定します。(例:10)

🛄 K-7	ス1(無題) 🛛 🛄 ベース 10	アラームの対対	処方…) 🗷 💕 アラーム 🗵				
アラーム設定 「文字列テーブルを使用する 言語設定 日本語 ・							
共通設定	: ブロック1 ブロック2 ブロック	3 ブロック4 1	ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブI	טעכם			
● ビット緊	調 〇 ワード監視			一日 各アラーム登録でき	データ取得	L	
	_ジャンプ 自動割付	🗸 ይጋይባ	✓ ログ ✓ アクティブ	設定アドレス数 1			
No.	ビットアドレス	発報条件	メッセージ		10/01	サブ表示画面番号	7
1	[PLC1]M001000	ON	圧力異常		0	10	ノ
2							
2							

17 アラームを表示するアラーム部品を設定します。

アラームを表示したい画面 (例:ベース 1)を開き、[部品 (P)]メニューの [アラーム (A)]を選択するか、 🧶 をクリックして画面に配置します。

	~-x	籠 🏽 🖳 ベース 10(アラームの対処方) 🛛 🛃 アラーム	×
-		_	
		=	
0			
-		Date Tria Messade Ack Recou	
		Date ITTY HESSage Itt Recov	
1			
-			
-			

18 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 アラーム			×
参 アラーム 部品ID AD_0000 三 コメント	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	<u>≫≣¥細</u>	X
	表示形式 表示ブロック 表示モード ブロック1		
	ま示行散 10 三 重 表示行間 0 三 重		

19 アラーム部品に表示するブロックと表示するモードを設定します。

20 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。

21 [サブ表示設定]タブを開き、[サブ表示を使用する]にチェックを入れます。

🏄 アラーム			×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状		
AD_0000		<u>>>詳細</u>	
コメント	₩ 99360×812m990		
	サブ表示タイプ ベース画面切替 🗾		

- 22 [サブ表示タイプ]で[ベース画面切替]を選択します。
- 23 必要に応じて[項目設定]タブ、[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。 これですべての設定が完了しました。

テキストウィンドウ表示

MEMO
 ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 (デ「17.9.2 共通設定(テキスト登録)の設定ガイド」(17-58 ページ)
 (デ「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(ブロック1)の設定ガイド」(19-82 ページ)
 (アラーム部品の設定ガイド 履歴表示」(19-99 ページ)
 ・ 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」を参照してください。
 (デ「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)



アラームをタッチすると、テキストウィンドウが表示されます。

- 1 サブ表示で呼び出すテキストウィンドウを作成します。[共通設定 (R)]メニューの [テキスト登録 (T)]を選択するか、

 をクリックすると [テキストの新規作成 / 開く] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 テキスト番号とコメントを設定し(例:テキスト番号「1」、コメント「圧力異常」)[新規作成]をク リックします。

💰 テキストの新規作成/開く	×
 ● 新規作成 ○ 開く 	
· 番号 1 三 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
コメント 圧力異常	
新規作成	キャンセル
	///

3 [言語]を指定し、サブ表示するテキストを入力します。

4 ▷
□ 複数言語入力
00

4 次にアラーム発報時に表示するメッセージを登録します。

[共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 💕 をクリックすると、次の画面 が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

🛄 ベース 1 (無題		📓 テキス	ト1(王)	力異常)	× 🔊	アラーム	X 4 b
アラーム設定	□ 文明	早列テーブル	ルを使用	।ৰব ্য	語設定	84	
共通設定 ブロッ	りゴブ	コック2 ブ۱	コック3	ブロック4	ブロック5	ブロック6	70של לעים ל
ブロック設定							
履歴記憶数	Ľ	자민	[ט <u>ָ</u> ר	アク	ティブ	□ 履歴のバックアップをおこなう
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
No. 1		128		128		128	◎ 新規プラール ビアまテ ○○ 御結プラール 仕まテレかい
No. 2							♥ #1987.7.7.LACUC301. ♥ HEHR7.7.7.LAB301.0801
No. 4							
No. 5							□ 外部操作
No. 6							
No. 7							
No. 8							
□ 印字設定							□ グループ機能を使用する
💿 リアルタイム	印字	O —#	和字		印字	フォーマット	アラーム発生回数書込み先頭アドレス
印字ワードアド	レス						(内部デバイスワードアドレス)
完了ビットアドし	ス						

5 [ブロック設定]でメッセージを登録するブロックの、使用する表示モード(ヒストリ/ログ/アク ティブ)にチェックを入れ、それぞれの履歴記憶数を設定します。

🔲 ベース 1 (無調		🗊 テキス	ト1(王)	力異常)	× 🗐	アラーム	×	
アラーム設定	□ 文字	早列テーブ	↓を使用	াৰক হা	語設定	BZ	語	•
共通設定 ブロ:	ック1 ブロ	コック2 ブロ	י 3לענ	ブロック4 📔	ブロック5	ブロック6	「ブロック7	אלעם ל
ブロック設定								
履歴記憶数	Ľ	<u> </u>	[טלנ	アク	ティブ	□ 履歴	₫のバックアップ
ブロック	使用	日本の主要の	使用	日本市会議長	使用	日本の主要		百辺 入時の フロ
No. 1		128	~	128	~	128	电//	*12/(*サリ)/ >
No. 2							0	新規アラームと
Ma 2								

6 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

• [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データは GP の 電源 OFF やリセットにより消去されます。 7 [ブロック1]タブを開き、[ビット監視]を選択します。

	🛄 K-7	、1(無題)	🗵 📝	テキスト 1	(圧力異常)	🗵 💕	アラーム	×	
	アラーム影	定	□ 文明	字列テーブ	ルを使用する	言語	設定	日本語	
l	共通設定	ブロック1	לפטע	2 ブロック	3 [ブロック4]	ブロック5	5 ブロック6	3∫ブロック7	ブロック8
(
		ジャンプ	自動調	<u> 劉付…</u>	🗸 ይአዞታ	🗸 🗸	ד 🗸 ד	クティブ	EXAE //
	No.	Ľ	ットアドレ	2	発報条件			メッセ	-ÿ
	1								
	2								

8 [ビットアドレス]で、アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。(例:M1000)

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。 デバイス「M」を選択し、アド レスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。

No. ビットアドレス	💰 アドレス入力	×	No.	ビットアドレス
1 📩	接続機器 PLC1	•	1	[PLC1]M001000
	M 💌 1000		2	
	Back	. Cir		
	ABC	7 8 9		
		1 2 3		
	-	0 Ent		
	☑ 既定値として使用	93		

9 [発報条件]のセルをクリックして監視ビットアドレスの ON でアラームを発報するか、OFF で発報 するかを選択します。



10 [メッセージ]にアラーム発報時に表示するアラームメッセージを入力します。

МЕМО	 1つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角 160 字までです。
	• [文字列テーブルを使用する]にチェックを入れると、システム運転中でもメッセー
	ジの言語を切り替えて表示できます。
	 ^(ア)「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15 ページ) ・[アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]できます。

11 サブ表示するテキスト番号 (例:1)を設定します。

	ベース 10	無題) 🛛 🛛 🔯 テキスト 1	(圧力異常)	🛛 💕 ጆን	-ь 🛛							
アラ	アラーム設定 🗌 文字列テーブルを使用する		-ブルを使用する 言語設定 日本語		日本語	•	エクスポート		F			
共道	共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8											
Θe	● ビット監視 ○ ワード監視											
	ジャンプ 自動割付_ ✓ ヒストリ ✓ ログ アクティブ											
N	No.	ビットアドレス	発報条件		メッセー	วั	101	サブ表示画面番号	7			
	1 [PL	C1]M001000	ON	圧力異常			0	1				
	2											
	2											

12 アラームを表示するアラーム部品を設定します。

アラームを表示したい画面 (例:ベース 1)を開き、[部品 (P)]メニューの [アラーム (A)]を選択するか、 🧶 をクリックして画面に配置します。

	Ç	【 ペース	🔙 🎒 🗙 🗾 テキスト 1(圧力異常) 🗙 🛃 アラーム 🗙	
				• •
		_		
	-			
- 1	-			
	ō.			
- 1				
			(() ()) ()	
			🥘 DateTridMessageAckRecv 🚽	
	1 - I			
- 1				
- 1	- 1			
- 1	- 1			
- 1				
- 1				
- 1	1			
- 1				
	101			
- 1	101			
- 1				
- 1				
- 1	- 1			
- 1	- 1			
- 1	2			

13 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

AD_0000 一 >>設設施 >> <	\delta アラーム		×
AD_0000 ・ >>注紙 コメント ・ ・ シジジ レーレレン・ ・ ・ ・ ・ >>注紙 メント ・ ・ ・ ・ >>注紙 >>注紙 メント ・ ・ ・ ・ >>ご >: <td< th=""><th>部品ID</th><th>基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形</th><th>扶] .</th></td<>	部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形	扶] .
アラーム登録	AD_0000 🚊		<u>>>詳細</u>
表示形式 表示ブロック 表示モード ブロック1 「レストリ」 」 表示開始行 二 重量 表示行数 「0 二 量量 表示行間 「 二 量	אלאב		
タイガない 表示ブロック 表示開始行 支示行数 し 表示行間		4-VII	
ブロックゴ ブロックゴ 表示開始行 表示行数 10 表示行間		表示ブロック 表示モード	
表示開始行 「		ブロック1	
表示行数 10 二 重 表示行間 2 二 重		表示開始行 1 三 里	
表示行間 2 二 重		表示行数 10 🚍 🧮	
75-ム登録		表示行間 印 🚍 🏛	
アラーム登録			
アラーム登録			
	75-16登録		
	/ / / A3294		
	ヘルプ(円)	OK(Q)	キャンセル

14 アラーム部品に表示するブロックと表示するモードを設定します。

15 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。

16 [サブ表示設定]タブをクリックし、[サブ表示を使用する]にチェックを入れます。

<i>参</i> アラーム			X
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 ハイッチ設定 カーソル形状		
	♥ サブ表示を使用する サブ表示タイプ ペース画面切替	<u>>>≣羊新田</u>	

17 [サブ表示タイプ]で[テキストウィンドウ表示]を選択します。

サブ表示タイプ	テキストウィンド	う表示	•					
ウィンドウサイズ	○大	● 小						
注意:テキストは一行20文字以内で登録してください。								

18 [ウィンドウサイズ]でサブ表示するウィンドウのサイズを選択します。

МЕМО	• ウィンドウサイズを [大]に設定した場合、GP 上でウィンドウが完全に表示されな
	い機種があります。
	☞ 「19.11.2 サブ表示設定 / 詳細の制限事項 」(19-151 ページ)

- 19 必要に応じて[項目設定]タブ、[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。
- 20 アラーム部品の左上に位置設定マーク が表示されます。位置設定マークを、テキストウィンドウをサプ表示したい位置に移動させます。これですべての設定が完了しました。







19.7 ラインごとにアラームを見たい

19.7.1 詳細

生産ライン別にアラームメッセージを分類して登録することで、画面ごとに表示するアラームを変えることができます。

<表示>



<登録>



19.7.2 設定手順

MEMO ・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

⁽³⁾「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(共通設定) の設定ガイド」(19-68 ページ)

☞「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド」(19-98 ページ)

部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
 を参照してください。

(3~18.6.1部品の編集手順」(8-42ページ)

画面毎に異なるブロックのアラームメッセージを表示します。



1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 🥵 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

🔲 ベース 1 (無調	ベース1(無題) X 62 アラーム X											
アラーム設定	アラーム設定 □ 文字列テーブルを使用する 言語設定 □本語											
共通設定 ブロック設定 履歴記憶数 ブロック No. 1 No. 2	ック1 ブ(ヒ) 使用 □	ンック2 ブ ストリ 記憶数 128	ロック3 	ブロック4 コグ 記憶数 128	ブロック5 アク 使用 マ	ブロック6 ディブ 記憶数 128	プロック7 プロック8 ■ 履歴のバックアップをおこなう 電源投入時のアラーム維続動作 ● 新規アラームとして表示 ● 維続アラームは表示しない					
No. 3 No. 4 No. 5 No. 6 No. 7 No. 8							外部操作 コントロールワードアドレス デアビットアドレス マロー					
□ 印字設定							□ グループ機能を使用する					
・ リアルタイム 印字ワードアト 完了ビットアド	,印字 ギレス レス	C 一括印字 印字:		7ォーマット ▼ @	アラーム発生回数書込み先頭アドレス (内部デバイスワードアドレス)							
── 流れ表示を使用する 「 サマリ表示を使用する												

2 [ブロック設定]で、メッセージを登録するのに使用するブロックのそれぞれの表示モード(ヒストリ/ログ/アクティブ)を選択し、履歴記憶数を設定します。

l	📃 ベース1(無題) 🔀 🛃 アラーム 🔀										
	アラーム設定 🗌 文字列テーブルを使用する 言語設定 日本語 👤										
3	共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8										
	ブロック設定										
	履歴記憶数	を記憶数 ヒストリ		[ט <u>ע</u> ב	アクティブ		🥅 履歴のバックアップをおこなう			
	ブロック	使用	日本語を見た	使用		使用		● 酒切り時の7月~1 継续動作			
	No. 1		200			~	100	电源は夏ノマロサリアノーム中国の運用ド			
	No. 2		200			~	100	◎ 新規アラームとして表示 (
	No. 3										
	No. 4										

3 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

☑ 履歴のバックアップをおこなう								
電源投入時のアラーム維続動作								
◎ 新規アラームとして表示	◎ 継続アラームは表示しない							

 重要

 ● [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データはGPの 電源 OFF やリセットにより消去されます。

4 [ブロック1]タブを開き、[ビット監視]を選択します。

🛄 K-2	、1(無題) 🛛 💕	P5-6 🗵			
アラーム副	設定 □ 文字法	列テーブルを使用する	5 言語設定	定 日本語	•
共通設定	לעים" ולעים"	! ブロック3 ブロック	4 [ブロック5 [ブロック6 ブロック7	7 [לפים ד
 ビット監 	. ○ ワード監約	1			一日 各アラー
	ジャンプ 自動書	<u> 付</u> 🗸 ヒスト	יע 🗸 טע	🗸 アクティブ	ERAE // INV
No.	ビットアドレス	、 発報条(4	ادلا	セージ
1		5778			
2					

5 [ビットアドレス]で、アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。(例:M1000)



6 [発報条件]のセルをクリックして、監視ビットアドレスの ON でアラームを発報するか、OFF で発 報するかを選択します。

Γ	🛄 K-7	ス1(無題) 🗵 💋 アラーム	<u>د</u>	×				
	アラーム影	設定 「文字列テー]	ブル	を使用する	-lun	語設定	日本語	•
	共通設定	: ブロック1 ブロック2 ブロ	ック	3 ブロック4 :	プC	נים"ל 5לפו	∘ク6 ブロック7	ブロック8
	◉ ビット監	観 ○ ワード監視						-□ 各アラー
		ジャンプ 自動割付		🗸 ይአዞታ	~	🖌 び 🧹	アクティブ	EXAL / 11/
	No.	ビットアドレス		発報条件			אייל	2-9
	1	[PLC1]M001000		ON 🔻				
	2			ON				
	3			OFF				
	4							

- 7 [メッセージ]に生産ライン1で発生するアラームの、アラームメッセージを入力します。
- 8 同様に、[ブロック 2] タブを開き、生産ライン 2 の監視ビットアドレスとアラームメッセージを登録 します。

🛄 KH)	ス1(無題) 🛛 💋 アラーム	×			
アラーム語	定 🗌 文字列テーブ,	ルを使用する	言語設定	日本語	•
共通設定	צעיםד לעיםד לעיםד	3 ブロック4	יםל∣5לעיםל	ック6 ブロック7	ブロック8
● ビット幣	記視 〇 ワード監視				┌─□ 各アラーム登録でき
	ジャンプ <u>自動割付</u>	ヒストリ	טט	アクティブ	設定アドレス数 1
No.	ビットアドレス	発報条件		メッセ	-9
1	[PLC1]M001050	ON	Aタンク停止		
2	[PLC1]M001051	ON	Bタンク停止		
3	[PLC1]M001052	ON	Cタンク停止		
4					
5					

МЕМО

[アラーム]の設定内容は、CSV 形式で[エクスポート]または[インポート]できます。

9 アラームを表示したい画面(例:ベース1)を開き、まず生産ライン1のアラームを表示するアラーム部品を設定します。[部品(P)]メニューの[アラーム(A)]を選択するか、 ● をクリックし、画面に配置します。



GP-Pro EX リファレンスマニュアル

10 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💰 アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0000		<u>>>≣羊細</u>
אלאב		
	表示形式	
	表示ブロック 表示モード	
	表示行間 り	
アラーム登録		
A 11-37(H)		50000
		1120/

- 11 [表示ブロック]で[ブロック1]を指定し、表示モードを設定します。
- 12 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。
- 13 必要に応じて[項目設定]タブ、[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。 ブロック1のアラームメッセージを表示する画面が作成できました。
- 14 [画面 (S)] メニューの [画面の新規作成 (N)] を選択するか、
 「
 ロ をクリックすると、 [画面の新規作
 成] ダイアログボックスが表示されます。 [画面番号] でベース画面の番号 (例:2) を設定し、 [新規
 作成] をクリックします。

💣 画面の静	所規作成	×
画面種別	x-2	
画面番号	2 📑 🏢	
タイトル	無題	
テンプレー	トを使用	
一覧加	からテンプレートを選択	
最近仍	<u>まったテンプレート</u>	
	新規作成 キャンセル	J

15 [ベース 2] 画面で [部品 (P)] メニューの [アラーム (A)] を選択するか、 🔮 をクリックし、画面に 配置します。



16 配置したアラーム部品をダブルクリックして設定ダイアログボックスを開き、[表示ブロック]で[ブ ロック 2]を指定します。

-表示形式			
表示ブロック	表	示モード	
ブロック2		ストリ	•
表示開始行	1	= <u>=</u>	
表示行数	10	= <u>=</u>	
表示行間	0		

17 必要に応じて [項目設定] タブ、 [カラー設定] タブ、 [表示設定] タブでアラームメッセージの表示 文字数や文字色・背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、 [OK] をクリックします。 ブロック 2 のアラームメッセージを表示する画面が作成できました。

19.8 CF カード /USB ストレージにアラーム履歴を残したい

19.8.1 詳細

GP のバックアップ SRAM に記憶されているアラーム履歴データを、CF カードまたは USB ストレージに保存します。

CSV 形式で保存されるので、汎用表計算ソフト (Microsoft Excel など) でアラームデータを編集できます。



バックアップSRAMに記憶されているアラーム履歴 データをCFカードまたはUSBストレージへ保存します。

MEMO	・ CF カードの空き容量が少ない場合は、CF カード内のすぐに必要でないデータを
	USB メモリに移動して、空き容量を確保できます。
	^{〔②} 「付録5CF カードと USB メモリ間でデータを移動したい」(A-79 ページ)

19.8.2 設定手順

MEMO

 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(共通設定)の設定ガイド」(19-68 ページ)
 「5.17.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド 動

バックアップ SRAM に記憶されているアラーム履歴データを、CSV 形式で CF カードに書き込む設定 を行います。(USB ストレージに書き込む場合も同様の手順で設定します。)



作設定」(5-149ページ)

バックアップSRAMに記憶されているアラーム履歴 データをCFカードまたはUSBストレージへ保存します。

1 システム設定ウィンドウの [本体設定]をクリックし、 [動作設定]タブを開きます。

ウインドウ設定	内部デバイスバックアップ
	「ハックアップを用アドレス」
	バックアップエリアサイズ 1 📰
画面 キャプチャ設定	
- キャプチャ設定	「 データ保存
□ キャプチャ動作	保存先 CFカード C USBストレージ
保存先 ⓒ CFカード 〇 USBストレージ 〇 FTPサーバ	コントロールワードアドレス
コントロールワードアドレス	□ CFカード空き容量
□ 白黒反転	空き容量格納アドレス (二)
画面/ビデオキャプチャ設定	 」 「USBストレージ空き容量
□ ファイル番号自動加算	空き容量格納アドレス
□ ファイル自動前叩除	・ 「SRAM自動バックアップ
□ ループ	コントロールワードアドレス
キャブチャ画像 品質 1 100 品質レベルを高くした場合、圧縮率は低くなります	

2 [メモリカード設定]で[データ保存]にチェックを入れ、保存先に[CFカード]を選択します。



3 [コントロールワードアドレス]に、CFカードへのデータの書き出しをコントロールするアドレス (例:D100)を設定します。



4 CF カードにアラーム履歴データを書き出す設定が完了しました。

МЕМО	 CSV 保存フ [ヒストリ] ている [表示 例) ブロック 	CSV 保存フォーマットは [表示モード]の設定によって自動的に決まります。 [ヒストリ]→[ログ]→[アクティブ]の順番で見ていき、最初に [使用]に設定され ている [表示モード]のフォーマットで出力されます。 例) ブロック 1を CF カードに保存する場合								
		共通設定 ┃ ブロック1 ┃ ブロック2 ┃ ブロック3 ┃ ブロック4 ┃ ブロック5 ┃ ブロック6 ┃ ブロック設定								
		履歴記憶数	E)	자민	[<u>ט</u> ב	アク	ティブ		
		ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数		
		No. 1	~	100	~	100				
		No. 2								
	この場合、[ヒストリ]のこ	フォー	マットで	保存る	されます	。この)例で [ヒ	:ストリ] が設	ł

この場合、[ヒストリ]のフォーマットで保存されます。この例で[ヒストリ]が設 定されていなければ[ログ]のフォーマットで保存されます。

どの表示モードで保存する場合も、最新の情報が上になるよう出力されます。
 [発報日付]、[発報時刻]、[メッセージ]などの項目名は固定で出力されます。項目名は言語設定が日本語の場合は日本語で、日本語以外(欧米、韓国語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、キリル文字、タイ語)を設定している場合は英語になります。

19.8.3 しくみ

アラーム履歴を CF カード /USB ストレージに書き出すしくみをご説明します。

CF カード /USB ストレージ保存の流れ

データ保存は、以下のように、指定のコントロールワードアドレスを制御して実現します。



"メッセージ件数","3","","","","" "","","","","","" "発報日付","発報時刻","メッセージ","確認時刻","復旧時刻","発報回数","累積時間","レベル" "05/11/14","10:05:35","Bタンク 圧力異常","10:20:35","11:00:15","1","1:00:00","1" "05/11/13","12:15:00","Aタンク 水位低下","13:20:00","16:15:00","2","3:00:00","0" "05/11/13","12:00:10","第1ポンプ閉","14:00:20","16:50:30","1","4:50:20","2"

Microsoft Excel で開くと

メッセージ件数	3							
発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻	発報回数	累積時間	レベル	
2005/11/14	10:05:35	B タンク 圧力異常	10:20:35	11:00:15	1	1:00:00		1
2005/11/13	12:15:00	A タンク 水位低下	13:20:00	16:15:00	2	3:00:00		0
2005/11/13	12:00:10	第1 ポンブ閉	14:00:20	16:50:30	1	4:50:20		2

データ保存のコントロールワードアドレス

データの書き出しをコントロールするアドレスです。ファイル番号を指定してから、アドレスにコマンドを書き込むことで、CFカードまたは USB ストレージに保存されます。

コマンドとステータス

コマンドを書き込むと、データを CF カードまたは USB ストレージへ書き出します。処理を行った結果(ステータス)がアドレスに反映されます。

モード	ワードデータ	内容
	0001h	ファイリングデータ
	0002h	GP-PRO/PB III for Windows 専用ロギングデータ (互換用)
	0003h	GP-PRO/PB III for Windows 専用折れ線グラフデータ (互換用)
	0004h	GP-PRO/PB III for Windows 専用データサンプリングのデータ(互換用)
	0005h	ブロック1のアラーム履歴データ
	0006h	ブロック2のアラーム履歴データ
	0007h	ブロック3のアラーム履歴データ
コマンド	0008h	ブロック4のアラーム履歴データ
	0009h	ブロック 5 のアラーム履歴データ
	000ah	ブロック6のアラーム履歴データ
	000bh	ブロック7のアラーム履歴データ
	000ch	ブロック 8 のアラーム履歴データ
	0020h	GP-PRO/PB III for Windows 専用ロギングループの自動保存開始(互 換用)
	0021h	GP-PRO/PB III for Windows 専用ロギングループの自動保存終了(互 換用)
	0000h	正常終了
	0100h	書き込みエラー
	0200h	CF カードまたは USB ストレージが挿入されていない、または CF カードカバーが開いている
ステータス	0300h	書き込みデータが存在しない(データが設定されていない)
	0400h	ファイル番号エラー(ファイルの番号が指定範囲を超えている)
	2000h	GP-PRO/PB III for Windows 専用ロギングループ(互換用)の自動保存に対する正常応答 コントロールアドレスの値がこの値の間、自動保存のモードが継続 されます。値が変更されると自動保存を終了します。

ファイル名と保存場所

コマンドを書き込む前にコントロールワードアドレスの次のアドレスにファイル番号を 0 ~ 65535 で 設定します。

コマンドを書き込むとアラーム履歴データは CF カードまたは USB ストレージの [ALARM] フォルダ に以下のファイル名で保存されます。



例)



MEMO ・ CF カードを GP で初期化すると、自動的にフォルダが作成されます。

フォルダ	保存されるデータ	ファイル名
	ファイリングデータ	F****.BIN
+FILE	CSV データ転送機能データ	ZR****.CSV
¥LOG	GP-PRO/PB III for Windows 専用ロギングデータ(互換用)	ZL****.CSV
¥ΏΔΤΔ	イメージ画面	I****.BIN
TUAIA	サウンドデータ	O****.BIN
¥CAPTURE	画面キャプチャ ビデオキャプチャ	CP****.JPG
¥MOVIE	動画ファイル	*.SDX
	GP-PRO/PB III for Windows 専用折れ線グラフデータ(互換用)	ZT****.CSV
¥TREND	GP-PRO/PB III for Windows 専用データサンプリングのデータ (互換用)	ZS****.CSV
	ブロック1のアラーム履歴データ	Z1****.CSV
	ブロック2のアラーム履歴データ	Z2****.CSV
	ブロック3のアラーム履歴データ	Z3****.CSV
¥ALARM	ブロック4のアラーム履歴データ	Z4****.CSV
	ブロック 5 のアラーム履歴データ	Z5****.CSV
	ブロック6のアラーム履歴データ	Z6****.CSV
	ブロック7のアラーム履歴データ	Z7****.CSV
	ブロック 8 のアラーム履歴データ	Z8****.CSV
¥SRAM	バックアップ SRAM データ	ZD****.BIN
¥SAMP01	サンプリンググループ1のデータ	SA****.CSV
•	•	
•	•	
¥SAMP64	サンプリンググループ 64 のデータ	SA****.CSV

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

CF カード /USB ストレージ保存の注意事項

- CFカード /USB ストレージにデータ書き込み中は部品や画面切り替えの動作が遅くなります。
- データ量により、書き込みに数秒以上かかる場合があります。
- GPからステータス(処理結果)が書き込まれた後、次のコマンド(操作内容)を書き込むまでには、通信サイクルタイム¹もしくは表示スキャンタイム²のいずれか長い方の時間以上の間隔をあけてください。
- CF カード /USB ストレージを GP に装着していない状態で CF カード /USB ストレージを使用した 画面を動作させないでください。正しく動作しません。
- 書き込みエラーが発生した場合、書き込み途中のファイルが CF カード内に残る場合があります。
- CF カード /USB ストレージに既存のデータを上書きして保存する場合は、上書きしようとしているデータの容量以上の空き容量が CF カード /USB ストレージに必要となります。データが容量以上の場合に保存を実行すると書き込みエラーが発生します。
- CFカード /USB ストレージ保存時、所定のフォルダ(¥ALARM など)が存在しない場合は、自動的に [ALARM] フォルダを作成して保存します。ただし、CFカードが初期化されていないなど、フォルダを作成できない場合は書き込みエラーとなります。
- CF カードにはデータの書き込み回数に制限があります。(500K バイトのデータ書き換えで約10万回)
- パソコンで CF カード /USB ストレージをフォーマットする場合は、FAT または FAT32 を選択して ください。NTFS でフォーマットした場合には、GP が正しく認識されません。
- USB ストレージを接続するのは1つのみにしてください。複数接続した場合には、正しく認識されない場合があります。

CF カード取り扱い上の注意事項

- CF カードの抜き差しの際は、必ず CF カードアクセス LED ランプが消灯していることを確認して ください。CF カード内のデータが破壊される恐れがあります。
- CFカードにアクセス中は、絶対に GP本体の電源 OFF、GP のリセット、CF カードの抜き差しは 行わないでください。CF カードへのアクセスが行えないようなアプリケーション画面を作成する などし、その画面にて電源 OFF、リセット、CF カードカバーの開閉、CF カードの抜き差しを行 うようにしてください。
- CFカードを挿入する際は、CFカードの裏表とCFカードのコネクタ位置を確認してください。取 り付け向きを間違えると、データの破壊、CFカード・GPの破損の恐れがあります。
- 使用する CF カードは、(株)デジタル製の CF カードをお使いください。他社の CF カードを使用 した場合、CF カードの内容が破壊される恐れがあります。
- CF カード内のデータは、必ずバックアップを取ってください。
- データの破壊や機器の故障の原因になりますので、CFカードを以下のように取り扱わないでください。
 - 無理に曲げる
 - 落としたり強い衝撃を与える
 - 水に濡らす
 - CF カードの接続部を直接手で触れる
 - 分解や改造を行う

USB ストレージ取り扱い上の注意事項

- USB ストレージにアクセス中は、本体のリセット、USB ストレージの抜き差しを行わないでください。 USB ストレージ内のデータが破壊される恐れがあります。
 USB ストレージを安全に取り外すために、システム変数「#H_Control_USBDetachTrigger」を ON し、 「#H_Status_USBUsing」が OFF になるのを確認してから取り外すようシステムを設計してください。
 「付録 6.2 HMI システム変数(#H システム変数) ビット型」(A-102 ページ)
- USB ストレージ内のデータは、必ずバックアップを取ってください。
- 1 通信サイクルタイムとは、GPから接続機器にデータを要求して取り込むまでの時間です。内 部デバイスのLS2037 にバイナリデータで格納されます。単位は 10ms です。
- 2 表示スキャンタイムとは、1 画面の表示・演算処理にかかる時間です。内部デバイスの LS2036 にバイナリデータで格納されます。単位は ms です。

19.9 アラーム発生時のデータを取得したい

19.9.1 詳細

監視するビットアドレスが ON (/OFF)、または監視するワードアドレスに警報が書き込まれると、ア ラームの発報、確認、復旧の状態に合わせてそれぞれのデータ値を取得します。データ値を解析する ことで、アラーム発生の原因を短時間で特定することができます。



発生しているアラームの発報、確認、復旧の日時に 合わせてデータ値を表示します。

発生中のアラームを一覧表示

[アクティブ] – [ログ] (発報時データ値) (発報日)(時刻)(アラーム)(発報時データ値) -16 08/17 10:09 圧力異常 08/17 10:09 圧力異常 50 確認時 50 10:10 圧力異常 08/17 50-08/17 10:10 温度異常 100 50 データ値 08/17 10:10 温度異常(確認!) 08/17 10:21 材料不足 OFF 復旧! 10:11 100 (復旧時 圧力異常 08/17 「データ値」 ※復旧したアラームは消え、履歴も残りません。 ※復旧してもアラームの履歴は残ります。 アラームの発報・確認・復旧を一行に表示 [ヒストリ] – (発報!) (確認!)(復旧!)(発報時データ値) 10:10 10:11 08/17 10:09 圧力異常 50 08/17 10:10 温度異常 100

08/17 10:11 材料不足

※復旧してもアラームの履歴は残ります。

アラームの発報・確認・復旧ごとに別々に表示

10:11 OFF

19.9.2 設定手順

ここでは、ビット監視を例に設定手順をご紹介します。

 ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

 ・ 認定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 ・
 ・
 「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(ブロック1)
 の設定ガイド ビット監視」(19-82 ページ)
 ・
 ・
 で
 『
 19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示」(19-99 ページ)
 ・
 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
 を参照してください。
 ・
 『
 『
 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

監視ビットアドレスが ON するとアラーム内容と発報日時、アラームの原因となるデータ値が表示されます。アラーム内容の確認時刻、またビットアドレスが OFF したときの復旧時刻も同じ行に表示されます。



表示モード:[ヒストリ]

1 [共通設定 (R)] メニューの [アラーム設定 (A)] をクリックするか、 💕 をクリックすると、次の画 面が表示されます。[言語設定] でアラームメッセージの表示言語を指定します。

🔲 ベース 1 (無題) 🔀 🔮 アラーム 🗙											
アラーム設定	□ 文字	列テーブル	を使用す	₫る (≣	語設定	日本					
共通観定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8											
ブロック設定											
履歴記憶数	E)	지민	[コグ	アク	ティブ	🥅 履歴のバックアップをおこなう				
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数					
No. 1		128		128		128					
No. 2					<u> </u>		● 和苑アプームとしし交示 ● 福祉デアプームは安示 いない				
No. 3											
No. 4							□ 外部操作				
No. 6											
No. 7											
No. 8							完了 ビットアドレス 📃 🔤				
□ 印字設定 □ グループ機能を使用する											
● リアルタイム印字 ● 一括印字 印字フォーマット アラーム発生回数書込み							アラーム発生回数書込み先頭アドレス				
							(内部デバイスワードアドレス)				
ロチクートアト	VA						, 💻				
完了ビットアドレ	ス										

- 2 [ブロック設定]でメッセージを登録するブロックの、使用する表示モード(ヒストリ/ログ/アク ティブ)にチェックを入れ、それぞれの履歴記憶数を設定します。
- 3 [履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れ、[継続アラームは表示しない]を指定します。

 重要
 • [履歴のバックアップをおこなう]を指定しない場合、アラーム履歴データは GP の 電源 OFF やリセットにより消去されます。

4 [ブロック1]タブを開き、[ビット監視]を選択します。

	🛄 K-7	ス1(無題)	🗵 💕 アラーム	×			
	アラーム語	定	🔲 文字列テーブル	を使用する	言語設定	日本語	•
ĺ	共通設定	ブロック1	ליים ל ליים ל	3 ブロック4 :	ブロック5 ブロッ	ック6 ブロック7 ブ	לעים (18
\langle	● ビット監	親の	ワード監視				日本 各アラー
		ジャンプ		🗸 ヒストリ	✓ ログ ✓	• アクティブ	設定アドレ
	No.	Ľ	ットアドレス	発報条件		メッセージ	IJ.
	1						

5 [ビットアドレス]で、アラームの発報を監視するビットアドレス (例:M1000)を設定します。

をクリックすると、アドレス入力用キーボードが表示されます。

デバイス「M」を選択し、アド レスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。



6 [発報条件]のセルで、監視ビットアドレスの ON でアラームを発報するか、OFF で発報するかを選択します。

📮 K-2	ス1(無題) 🛛 💕 アラーム	L 🗵								
アラーム語	設定 🗌 文字列テー	ブルを使用する	言語設定	日本語	•					
共通設定 ブロック1 ブロック2 ブロック3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブロック8										
● ビット監	!視 ○ ワード監視				_□ 各アラ-					
No.	ビットアドレス	発報条件		メッセ	-ÿ					
1	[PLC1]M001000	ON ·	-							
2		ON								
3		OFF								
4			<u>_</u>							

- 7 [メッセージ]にアラーム発報時に表示するアラームメッセージを入力します。
 - MEMO 1 つのアラームメッセージに登録できる文字数は、半角 160 字までです。
 - (文字列テーブルを使用する)にチェックを入れると、システム運転中でもメッセージの言語を切り替えて表示できます。
 (3)「17.4 ほかの言語に切り替えたい(マルチランゲージ)」(17-15ページ)
- 8 [各アラーム登録でデータ取得] にチェックを入れて、データ値取得用の[設定アドレス数](例:3) を指定します。

☑ 各アラーム登録でデータ取得	
設定アドレス数 3 🛨 🌉 🗆 7	⁷ ドレス1:同じアドレスを使用する ▲ 7ドレス2:同じアドレスを使用する ↓

- MEMO
 メッセージの内容に関係なく、アラーム発報時に同じアドレスを使用する場合は [同じアドレスを使用する]にチェックを入れます。設定したアドレス列は全メッ セージで同じアドレスが使用されます。
- 9 [アドレス 1]のセルをクリックし、 をクリックすると [アドレス設定] ダイアログボックスが表示されます。

アドレス1	💣 アドレス設定	×
	アクセスタイプ	
	アドレス	[PLC1]X00000 💌 🧰
	ビット長	ⓒ 16 ビット · ○ 32 ビット
	データ形式	Dec 🔽 🗖 符号+/-
	「データ表示スタ	□ 四捨五入 イル
	表示桁数	小数点桁数
	5 C + 25 th	
	・ 左詰の	
		OK(Q) キャンセル

10 アラーム発生時のデータ値を取得するためのアドレスを設定します。(例:ワードアドレス「D1000」)

をクリックすると、アドレス入力用キーボードが表示されます。

デバイス「D」を選択し、アド レスに「1000」を入力して 「Ent」キーを押します。



- 11 [データ表示スタイル]でデータ値の表示形式を設定し、[OK] をクリックします。
- 12 [ビット長]と[データ形式]を指定します。

アラーム設定の登録が完了しました。



13 作画画面を開き、アラームを表示するアラーム部品を設定します。[部品 (P)] メニューの [アラーム (A)] を選択するか、 👌 をクリックし、画面に配置します。



14 配置したアラーム部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💰 アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0000 🚊 אלצב		<u>>>言羊糸田</u>
	表示形式 表示ブロック 支示ブロック 表示間始行 表示行数 し 表示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し ま示行間 し し し し し し し し し し し し し	
アラーム登録		
ヘルプ(<u>H</u>)	OK(Q)	キャンセル

15 アラーム部品に表示するブロックと表示するモードを設定します。(例:ブロック1、ヒストリ)
 16 [表示開始行]、[表示行数]、[表示行間]を設定します。

17 [項目設定] タブを開き [アドレス] にチェックを入れ [表示文字数] を設定します。[アドレス 1]、 [アドレス 2]、[アドレス 3] にチェックを入れます。

💰 アラーム		×
部品ID	基本設定項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0000 🗄	表示文字数表示順序	<u>>>詳細</u>
40%	累積 11 1 レベル 7 1 アドレス 9 1 アドレス1 アドレス2 マ アドレス2 アドレス2 マ アドレス3 アドレス4 アドレス5 アドレス5 アドレス7 24/00 アドレス8 マ 9	
アラーム登録		
ヘルプ(円)	OK(<u>O</u>)	チャンセル

18 必要に応じて[カラー設定]タブ、[表示設定]タブでアラームメッセージの表示文字数や文字色・ 背景色、フォント、サイズなどの設定を変更し、[OK]をクリックします。

19.10 設定ガイド

19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド

ズース1(無題) X 🛃 アラーム X										
アラーム設定	□ 文字	列テーブル	を使用す	お言	語設定	旧本				
共通設定 ブロッ	かーブ	コック2 ブ۱	<u>」</u> ック3 ['	ブロック4 🍈	ブロック5	ブロック6	לעפד 70ע סע			
ブロック設定 履歴記憶数 ブロック No. 1 No. 2 No. 3 No. 4 No. 5 No. 6 No. 7	と; 使用 □ □ □ □ □	ストリ 記憶数 128	[使用 □ □ □ □]グ 記憶数 128	アク 使用 □ □ □ □	ティブ 記憶数 128	展歴のバックアップをおこなう 電源投入時のアラーム継続動作 の 新規アラームとして表示 の 新規アラームとして表示 の 単続アラームは表示しない ハ部操作 コントロールワードアドレス マーロー マーロー マーレー マーレー マーレー マーレー マーレー マー マーレー マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マーレ マー マー			
No. 8 「印字設定 © リアルタイム 印字ワードアド 完了ビットアドし	ロ 印字 ルス ルス	0;	部字		印字	7#	エナビッドアドレス			
□ 流れ表示を修	吏用する	日 サマ	リ表示を	E使用する						

設定項目	設定内容
文字列テーブルを使用 する	文字列テーブルに登録された文字列をアラームメッセージとして使用するかどう かを指定します。運転中にアラームメッセージの言語を切り替えて表示できま す。 ^{CGP} 「17.9.7 アラーム設定(文字列テーブルを使用する)の設定ガイド」(17-70 ページ)
言語設定	文字列テーブルを使用せず、メッセージを直接入力する場合に、登録するアラー ムメッセージの言語を [日本語]、[欧米]、[中国語(繁体字)]、[中国語(簡体 字)]、[韓国語]、[キリル文字]、[タイ語] から選択します。
エクスポート	設定内容を CSV 形式で出力します。
インポート	CSV 形式で作成した設定内容を取り込みます。

MEMO ・文字列テーブルや言語設定は、アラーム設定全体(履歴・流れ表示・サマリ)で共通です。言語設定から文字列テーブルへ、または文字列テーブルから言語設定へ変更すると、設定済みのメッセージは削除されます。

- [文字列テーブルを使用する]を指定している場合はインポート/エクスポートはで きません。
- プロジェクトデータの転送をしなくても、起動時や任意のタイミングでアラーム メッセージを外部メモリから読み込んで更新させることができます。
 設定内容の詳細は以下を参照してください。

^(②)「17.7 データ転送をせずに文字列テーブルを変更したい」(17-37 ページ)

アラーム設定(共通設定)の設定ガイド

アラームメッセージ(履歴表示)で使用するブロックや表示モード、アラーム履歴記憶数などの設定 を行います。

📃 ベース 1 (無	題) 🗙	ຢ Pə-	ь 🗙				4 ▷ ¥
アラーム設定	□ 文字	列テーブル	を使用す	お言	語設定	日本	語 <u> エクスポート</u> インポート
共通設定プロ	ול ולענ	ロック2 ブロ	ロック3 1	ブロック4	ブロック5	〕ブロック6) לעיםל (ד'סעיםל)
ブロック設定							
履歴記憶数	۲. ۲	자민	[] グ	アク	ティブ ニー	🥅 履歴のバックアップをおこなう
ブロック	使用	記憶数	使用	記憶数	使用	記憶数	
No. 1	✓	128	~	128	✓	128	
No. 2							● 新規アラームとして表示 ● 組続アラームほ表示しない
No. 3							
No. 4							□ 外部操作
No.6							
No. 7							
No. 8							完了ビットアドレス
,							,
□ 印字設定							□ グループ機能を使用する
		~ ~					
◎ リアルタイ.	ム印字	$O \rightarrow i$	和字		印字:	フォーマット	
印字ワードア	パドレス						(内部テハイスワードアドレス)
実てビットア	867						
561 C9191	1.622						
□□ 流れ表示を	を使用する	- E #7	7)表示を	を使用する			

	設定項目	設定内容
ブ	コック設定	ブロックごとに、アラームメッセージの表示モードと各モードでのアラーム履 歴の記憶数(GP に記憶するアラーム履歴の数)を設定します。アラーム履歴記 憶数はアラーム履歴全体で 768 個まで設定できます。 MEMO • IPC シリーズ選択時、アラーム履歴記憶数はアラーム履歴全体で 10,000 個ま で設定できます。
	ブロック	登録するアラームメッセージのひとまとまりのグループです。ブロックは最大 8 個まで使用できます。

	設定項目			ŧ.	设定内容				
		アラームメッセージの表示方式を[ヒストリ]、[ログ]、[アクティブ]から選 択します。現在発報中のアラームのみを表示する場合は[アクティブ]、履歴を 残したい場合は[ヒストリ]または[ログ]を選択します。							
			アラームが発生した順に日時とメッセージ、取得したデータ値 を表示します。アラームを確認、復旧するとその時間を追加で 表示します。状態の変化が1行で確認できます。						
		ヒストリ	日付	発報時間	メッセージ	確認時間	復旧時間	アドレス1	
			2003/12/13	20:14	コンベア停止			OFF	
			2003/12/13	20:02	ホッパー容量減	20:08		30	
			2003/12/13	19:30	電圧異常	19:40	20:00	150	
ブロ			発報、確認、 時、取得した 認できます。	復旧と変 にデータ値	変化があるたびI 値を表示します。	こ1 行ず: 状態ごと	⊃メッセ・ とにその	-ジと日 日付が確	
ッ	表示モード		日付	発報時間	メッセージ	確認時間	復旧時間	アドレス1	
ク			2003/12/13	20:14	コンベア停止			OFF	
設定		ログ	2003/12/13		ホッパー容量減	20:08		30	
			2003/12/13	20:02	ホッパー容量減			30	
			2003/12/13		電圧異常		20:00	100	
			2003/12/13		電圧異常	19:40		150	
			2003/12/13	19:30	電圧異常			150	
			発報時のアラ 動的に消去す	ラームのみ されます。	▶を表示します。	復旧する	るとアラ・	ームは自	
			日付	発報時間	メッセージ	アドレス1			
		アクティブ	2003/12/13	20:14	コンベア停止	OFF			
			2003/12/13	20:02	ホッパー容量減	30			
			2003/12/13	19:30	電圧異常	150			
	使用	使用する [表示 計 8 個まで設定	、モード]を選 Eできます。	選択します	-。[表示モード]はアラ	ーム履歴	全体で合	
		各表示モードのアラーム履歴記憶数を設定します。記憶数の合計はアラーム履 歴全体で 768 個まで設定できます。発生したアラームが設定数を超えた場合は、 古いアラームから切り捨てられます。							
	記憶数	 MEMO IPC シリース で設定できま 	、選択時、アラ ミす。	ラーム履歴	■記憶数はアラー	-ム履歴3	を体で 10	,000 個ま	

設定項目	設定内容
印字設定	アラーム履歴の印字を行うかどうかを設定します。
	☞ 19.11.1 アラーム履歴の印刷の制限事項」(19-150 ページ)
リアルタイム印字 / 一括印字	印字のタイミングを[リアルタイム印字]、[一括印字]から選択します。 ・ リアルタイム印字 [発報]、[確認]、[復旧]のタイミングでアラーム履歴を印字します。 印字フォーマットは[ログ]の表示フォーマットと同様になります。 複数のブロックを使用している場合でも、ブロックに関係なくその都度印字が行われます。 ・一括印字 [印字ワードアドレス]のビット0をONすると、指定したブロックに記憶されているすべてのアラーム履歴を印字します。 印字フォーマットはブロックの[表示モード]の設定によって決まります。 [ヒストリ]→[ログ]→[アクティブ]の順番で見ていき、最初に[使用]に設定されている[表示モード]のフォーマットで印字されます。 例)ブロック1を印字する場合 株通設定 ガロック類定 履歴記憶数 ビストリ ブロック類定 アクティブ ブロック 使用記憶数 水0.1 100 No.2 0 この場合、[ヒストリ]のフォーマットで印字されます。この例で[ヒストリ] が設定されていなければ[ログ]のフォーマットで印字されます。 印字の最後には改ページが行われます。
印字ワードアドレス	アラーム履歴の印字をコントロールするアドレスです。アラームの種類を設定 してから印字を開始するトリガビット(ビット0)を ON します。 15 +0 +0 +1 アラーム種類 +1 アラーム種類 ・ : フロック1データ : フロック2データ : : 7: ブロック8 データ
完了ビットアドレス	印字完了を知らせるビットアドレスを設定します。印字が完了した時点で ON になります。 MEMO • [完了ビット]の ON を検出した後は接続機器側で[完了ビット]の OFF を 行ってください。[印字ワードアドレス]のビット0もこのタイミングで OFF することをおすすめします。

	設定項目	設定内容
		[印字フォーマット設定]ダイアログボックスが表示されます。
	印字フォーマット	印字フォーマット 表示文字 表示文字 表示文字 表示如書 「日村」10 「「日村」10 「「「日村」10 「「「日村」10 「「「日村」10 「「「日村」10 「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」
印字設定	左余白	 一番左端の項目の文字と枠の間の余白を半角0~100文字分で設定します。 ↔08/17/04 13:20 圧力異常 この余白を設定します。
	印刷する項目の 選択	 [日付]、[発報]、[メッセージ]、[確認]、[復日]、[回数]、[累積]、 [レベル]、[アドレス]]~[アドレス8]から印字する項目を指定します。 日付 アラームが発報した日付を印字します。 発報 アラームが発報した時間を印字します。 メッセージ アラームメッセージを印字します。 確認 アラームメッセージを確認した時間を印字します。 復日 アラームが復旧した時間を印字します。 回数 アラームが発報した回数を印字します。最大カウント数は65535回までです。 累積 アラームが発報している間の累積時間を印字します。最大時間は9999時間59 分59秒までです。 レベル アラームメッセージに設定された重要度のレベルを印字します。 アドレス1~アドレス8 アラームが発報、確認、復旧したときに取得したデータ値を印字します。

	設定項目		設定内容
			各項目の表示文字数を設定します。各項目の設定範囲は下表のとおりです。
印字設定	印字フォーマット	表示文字数	日付 半角5~100または8~100文字 (選択した日付フォーマットにより設定範囲が異なります) 光報、確認、復旧 半角5~100または8~100文字 (選択した時間フォーマットにより設定範囲が異なります) メッセージ 半角1~160文字 回数、累積、レベル 半角2~100文字 アドレス1~8 半角0~100文字 MEMO ・ 表示する項目と項目の間にスペースをあけたい場合は、実際の文字数より多めに[表示文字数]を設定してください。
		表示順番	各項目の表示順序を設定します。上から順番に設定した項目が、左から右の並 びに印字されます。
		日付フォーマッ ト	印字する日付のフォーマットを [yy/mm/dd]、[mm/dd/yy]、[dd/mm/yy]、[mm/dd] から選択します。
	印字設定	時間フォーマッ ト	印字する時間のフォーマットを [12:00]、 [24:00]、 [12:00:00]、 [24:00:00] から選 択します。
		フォント	印字するアラームメッセージのフォントタイプを [標準フォント]、[ストロー クフォント] から選択します。
		発報カラー 確認カラー 復旧カラー	印字するアラームメッセージの色を[発報]、[確認]、[復旧]それぞれに8色 から選択します。GPの機種を問わず、カラーで印字されます。 MEMO ・ 白色を設定した場合は黒字で印字されます。 ・ [表示モード]が[ヒストリ]で印字のタイミングが[一括印字]の場合、ア ラームが発報しているときは発報カラー、確認したときは確認カラー、復旧 したときは復旧カラーの色で印字されます。ただし、すでに復旧しているア ラームを確認した場合は、復旧カラーで印字されます。 印字の色は文字のみで背景色は印字されません。


次のページに続きます。

	設定項目	設定内容					
外部操作		アラームメッセージ(履歴表示)に対する [全確認]、 [全クリア]、 [発生回数 全クリア]、 [累積時間全クリア] の操作を接続機器 (PLC など) から行うかどう かを設定します。 ^(金) 「19.11.3 複数台の GP で外部操作する際の制限事項」(19-152 ページ)					
	コントロールワード アドレス	接続機器から行う操作の種類 (操作コード)と、操作するアラームの種類をコ ントロールするアドレスを設定します。 0:操作しない 1:全確認 2:全クリア 3:全発生回数クリア 4:全累積時間クリア 4:全累積時間クリア 0:ブロック1データ 1:ブロック2データ 2: : : : : : : : : : : : : : : : : : :					
	完了ビットアドレス	外部操作の処理完了を確認するアドレスを設定します。処理が完了した時点で ON になります。					

設定項目	設定内容							
グループ機能を使用する	グループ機能を使用するかどうかを設定します。アラームの発生回数をグルー プ番号ごとにカウントする場合に設定します。							
アラーム発生回数書 込み先頭アドレス (内部デバイスワー ドアドレス)	 (A) アラームの発生回数を書き込む GP 内部デバイスの先頭アドレスを設定します。 (B) (A) で設定したアドレスからグルーブ番号を登録した数の分だけ、内部デバイスアドレスの発生回数書き込みエリアとして使用されます。 (C) アラームが発生すると、グルーブ番号に対応するそれぞれの内部デバイスアドレスのデータを1つずつ加算します。 <u>廃生したアラーム グルーブ番号</u> <u>ダッセージ1 0</u> <u>2 +0 グルーブ番号 1 の発生回数</u> <u>3 ッセージ2 1 +0 グルーブ番号 2 の発生回数</u> <u>2 +1 グルーブ番号 2 の発生回数</u> <u>4 グルーブ番号 3 の発生回数</u> <u>2 +1 グルーブ番号 3 の発生回数</u> <u>4 グルーブ番号 3 の発生回数</u> <u>4 グルーブ番号 3 の発生回数</u> <u>4 グルーブ番号 3 の発生回数</u> <u>5 ッセージ6 2 グルーブ番号 0 はカウントされません。 <u>5 ッセージ7 1 1 </u></u> MEMO グルーブ番号の最大数は 6096 です。従って、登録したアラームメッセージ1 0 コ つにグルーブ番号を設定することもできます。 グルーブ番号の数に応じて、内部デバイス (USR エリアまたは LS エリア) の 領域を必ず確保してください。LS エリアについては以下を参照ください。 <u>5 パーブ 番号の数に応じて、内部デバイス (USR エリアまたは LS エリア) の 領域を必ず確保してください。LS エリアについては以下を参照ください。 <u>5 『「付録 1.4 LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」(A -7 ページ) </u></u> アラーム発生回数は GP の電源を OFF すると消去されます。パックアッブす る場合は、内部デバイスのバックアッブ機能を設定してください。 <u>5 「「5 17.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイ ド 操作設定」(5-148 ページ) </u> カウントラ能なアラーム発生回数は 0 ~ 65535 までです。65535 を超えると 65535 よりカウントアップされません。 アラーム発生回数が格納される内部デバイスのデータを書き換えたり、GP の 電源 OFF などごで⁵ - タがクリアされると正常にカウントされません。 アラーム発生回数のデータ形式は Bin 固定です。 グルーブ番号 0 のアラームの発生回数はカウントされません。 							
流れ表示を使用する	アラームメッセージを流れ表示する設定を行います。 ⁽³⁾ 「 アラーム設定(流れ)の設定ガイド」(19-93 ページ)							
サマリ表示を使用する	発生中のアラームをリスト表示する設定を行います。 [☞] 「 アラーム設定(サマリ)の設定ガイド」(19-96 ページ)							

バックアップ SRAM について

GPの電源を OFF してもデータを GP 内部に保持できるメモリです。

バックアップ SRAM のユーザーエリアは、アラーム履歴データのほか、サンプリングデータや内部デ バイスのバックアップデータ、ファイリングデータに使用されます。

アラーム履歴データに使用できるバックアップ SRAM の容量は、GP の機種や他のデータの使用量に より異なります。



バックアップ SRAM の使用優先順位は次のとおりです。

操作ログ

アラーム履歴データ サンプリングデータ 内部デバイスのバックアップデータ ファイリングデータ

```
重要
• バックアップ SRAM に保存したアラーム履歴データは次のタイミングで消去されます。
```

- 画面転送時
- メモリの初期化時(オフライン)
- バックアップ SRAM の初期化時(オフライン)

<アラーム履歴データの容量>

アラーム履歴データのバックアップ SRAM 使用量は、すべてのブロックの [記憶数] とメッセージ登 録数(アドレス数)の設定内容により異なります。

メッセージを登録していない場合は[履歴のバックアップをおこなう]の設定の有無にかかわらず、 データのサイズは0バイトです。

<計算式>

アラーム履歴データ(全ブロック)の使用量 (単位:バイト)

576 + [ブロック1の記憶数×(28+4+(アドレス設定数+15)/16×4+アドレス設定数×4)] … (ブロック2~7に対してもブロック1と同じ計算式を適用) + [ブロック8の記憶数×(28+4+(アドレス設定数+15)/16×4+アドレス設定数×4)] + (16×メッセージ登録数)+(4×メッセージ登録数)+(4×メッセージ登録数)] <計算例>

設定項目	項目内容
プロック1の設定	-
プロック1のアラーム履歴記憶数	768
プロック1のアドレス設定数	0
プロック2~8の設定	なし
メッセージ登録数	2048
バックアップ設定	-
履歴のバックアップを行う	する

<計算結果> (576) + (768 × (28 + 0)) + (16 × 2048) + (4 × 2048) + (4 × 2048) = 71232 バイト(約 69KB)

アラーム履歴のインポート / エクスポート

アラーム設定のデータを CSV 形式のファイルとしてインポート、エクスポートできます。

汎用表計算ソフト(Microsoft Excel など)でデータの作成や編集ができます。

< CSV ファイルのフォーマット>

[アラーム設定]ウィンドウの[エクスポート]をクリックすると、アラーム設定の情報が次のように CSV 形式のファイルで出力されます。以下の画面は Microsoft Excel で開いた場合を例としています。

• アラーム設定を CSV 形式のファイルで新規作成する場合は、下記のフォーマットに MEMO 従って、各項目を入力してください。 項目名は使用しない機能の場合でも必ず入力してください。また、エクスポートし た CSV ファイルの項目名を編集、削除しないでください。エラーになりインポート できません。

- GP-Pro/PBIII からエクスポートした CSV ファイルがインポートできます。
- ヘッダ情報

	A	В	С
1	GP-Pro EX		
2	File Type	Alarm Data	
3	File Version	1	0
4			
5	Common Setting		
6			
7	Language	Color Code	
8	ja-JP	2	
9			

Common Setting: 共通設定

Language : 言語設定(アラームメッセージの言語を以下の文字で設定します。) 「ja-JP:日本語、en-US:欧米、zh-TW:中国語(繁体字), zh-CN:中国語 (簡体字) ko-KR:韓国語、ru-ru:キリル文字、th-TH:タイ語」 Color Code :カラー設定(アラームメッセージのカラーを以下のコードで設定します。)

- 0:カラー 65536 色点滅無し 6:カラー256 色点滅無し
- 1:カラー 32768 色1速点滅(予約) 7:カラー 64 色3 速点滅 2:カラー 16384 色 3 速点滅 8:カラー16 色1 速点滅
- 4:カラー 4096 色 3 速点滅
- 5:モノクロ 16 階調 3 速点滅
- 9:モノクロ8階調1速点滅
- 10:モノクロ8階調点滅無し

• Block Setting : ブロック設定

	A	В	С	D	E	F	G
10	Block Setting						
11	Block No.	History(0:Not Use; 1:Use)	History Records	Log(0:Not Use; 1:Use)	Log Records	Active(0:Not Use; 1:Use)	Active Records
12	Block1	1	128	1	128	1	128
13	Block2	1	76	1	76	1	76
14	Block3	0	0	0	0	0	0
15	Block4	0	0	0	0	0	0
16	Block5	0	0	0	0	0	0
17	Block6	0	0	0	0	0	0
18	Block7	0	0	0	0	0	0
19	Block8	0	0	0	0	0	0
20							

Block No.	:ブロック番号
History	:ヒストリ「0:無効、1:有効」
History Records	:ヒストリ履歴の[記憶数]
Log	: ログ「0: 無効、1: 有効」
Log Records	:ログ履歴の[記憶数]
Active	:アクティブ「0:無効、1:有効」
Active Records	:アクティブ履歴の [記憶数]

	A	В	
21	Print Setting(0:Disable; 1:Enable)		1
22	Print Mode(0:Real Time; 1:Batch)		1
23	Print Word Address	[PLC1]D00000	
24	Completion Bit Address	[PLC1]X00000	
25			
26	Backup History(0:Disable; 1 :Enable)		1
27	Continues Action(0:Display as a new Alarm; 1 :Hide continuing Alarms)		0
28			
29	External Operation(0:Disable; 1:Enable)		1
30	Control Word Address	[PLC1]D00000	
31	Completion Bit Address	[PLC1]X00000	
32			
33	Group Feature(0:Disable; 1 :Enable)		1
34	No. of Alarms Write Start Address	[#INTERNAL]LS0000	
35			
36	Enable Banner(0:Disable; 1:Enable)		1
37	Enable Summary(0:Disable; 1:Enable)		1
38			
39			
40	Blocks Setting		
41	Data Type(0:DEC; 1:HEX; 2:BCD)		0
42	Sign +/-(0: Na Sign; 1 : Sign)		0
43			

Print Setting(0:Disable; 1:Enable)	:印字設定「0:無効、1:有効」
Print Mode(0:Real Time; 1:Batch)	:印字モード「0:リアルタイム印字、1:一括印字」
Print Word Address	: 印字ワードアドレス (入力例 : [PLC1]D00100)
Completion Bit Address	:完了ビットアドレス
Backup History(0:Disable; 1:Enable)	:履歴のバックアップをおこなう「0:無効、1:有効」
Continues Action(0:Display as a new Ala	arm; 1:Hide continuing Alarms)
	:電源投入時のアラーム継続動作「0:新規アラームとし
	て表示、1:継続アラームは表示しない」
External Operation(0:Disable; 1:Enable)	:外部操作
Control Word Address	:コントロールワードアドレス
Completion Bit Address	:完了ビットアドレス
Group Feature(0:Disable; 1:Enable)	:グループ機能を使用する「0:無効、1:有効」
No. of Alarms Write Start Address	:アラーム発生回数書き込み先頭アドレス
Enable Banner(0:Disable; 1:Enable)	:流れ表示を使用する「0:無効、1:有効」
Enable Summary(0:Disable; 1:Enable)	:サマリ表示を使用する「0:無効、1:有効」

Blocks Setting

	A	B	С	D	E	F	G	н	I	J	K
40	Blocks Setting										
41	Data Type(0:DEC; 1:HEX; 2:BCD)	0									
42	Sign +/-(0: No Sign; 1: Sign)	0									
43											
44	Block1										
45	No. of Address	3									
46	Common Address1(0:Disable; 1:Enable)	1									
47	Common Address2(0:Disable; 1:Enable)	1									
48	Common Address3(0:Disable; 1:Enable)	1									
49	Common Address4(0:Disable; 1:Enable)	0									
50	Common Address5(0:Disable; 1:Enable)	0									
51	Common Address6(0:Disable; 1:Enable)	0									
52	Common Address7(D:Disable; 1:Enable)	0									
53	Common Address8(0:Disable; 1:Enable)	0									
54	Bit Log										
55	No.	Bit Address	Trigger Condition(0:OFF; 1:ON)	Message	Level	Group No.	Sub Display Screen No.	Address1	Bit Count	Data Type	Sign
56	1	[PLC1]X00000	1	温度異常	0) (0				
57	Word Log										
58	No.	Word Address	Trigger Trigger Condition 00 Word Address Value)	Bit Count(0:16; 1:32)	Message	Level	Group No.	Sub Display Screen No.			
59	1	[PLC1]D00000	X =0	0	圧力異常	0	0	0	[PLC1]D00000	0	0
60											
61	Block2										
62											
63	Block3										
64											
65	Block4										
66											
67	Block5										
68											
69	Block6										
70											
71	Block7										
72											
73	Block8										
74											
1.75											

Data T	ype(0:DEC; 1:HEX; 2:BCD) : データ形式 ([ビット監視] の場合は「0」になりま す。)「0:DEC、1:HEX、2:BCD」
Sign +	/-(0: No Sign; 1: Sign)	: 符号 ([ビット監視]の場合は「0」になります。)「0: 符号なし、1:符号あり」
Block1	~8 : ブロック番	号1~8(使用しないブロックは項目名のみ入力します。設定す
	るブロック	番号の下に設定内容を入力します。)
No. of	Address : 設定アドレ	ス数
	Common Address1~8	:同じアドレスを使用する「0:使用しない、1:使用する」
		(データ値を取得する場合のみ入力します。)
Bit Log	」 : ビット監視	
-	No.	:行番号(番号は連番でなくてもかまいません。)
	Bit Address	:ビットアドレス
	Trigger Condition	:発報条件
	Message	:メッセージ
	Level	:レベル
	Group No.	:グループ番号
	Sub Display Screen No.	:サブ表示画面番号
	Address1~8	:設定アドレス1~8(アドレス値のみ入力します。ワードアド
		レスを設定する場合は以下の項目を入力します。)
	Bit Count	: 設定アドレスのビット長の設定「0:16 ビット、1:32 ビット」
	Data Type	:データ形式「0:DEC、1:HEX、2:BCD、3:FLOAT」
		(「3」の [FLOAT] は Bit Count(ビット長)が「1:32 ビット」
		の場合のみ設定できます。)
	Sign	:符号「0:符号なし、1:符合あり」
	Total Display Digits	:表示桁数「1 ~ 11:DEC/HEX/BCD、1 ~ 17:FLOAT」
	Decimal Places	:小数点桁数 (「表示桁数 - 1」が最大入力範囲)
	Display Position	:表示位置「0:左詰め、1:右詰め」

Zero Suppress	:ゼロサプレス(表示する数値が表示桁数よりも少ない場合に
	「0」を表示するかどうかを設定します。)「0:0を表示する、
	1:0を表示しない」
Round Off	: 四捨五入 (Data Type (データ形式) が「3 : Float 」 の場合のみ
	設定できます。)「0:しない、1:する」
Word Log : ワード監視	
No.	:行番号(番号は連番でなくてもかまいません。)
Word Address	: ワードアドレス
Trigger Condition (X: Word	d Address Value)
	:発報条件設定(X=[警報値] で設定します。)
Bit Count	:警報値のビット長の設定「0:16 ビット、1:32 ビット」
Message	:メッセージ
Level	: レベル
Group No.	:グループ番号
Sub Display Screen No.	:サプ表示画面番号
Address1~8	:設定アドレス1~8(アドレス値のみ入力します。ワードアド
	レスを設定する場合は「Bit Log」の Address1~8(設定アドレ
	ス1~8)を参照してください。)

• Banner Setting : [流れ]表示

	• •	-							
	A	В	C	D	E	F	G	н	I
6.	Banner Setting								
68	Font Type(0:Standard Font; 1:Stroke Font)	Font Size							
69	0	W:8;H:16							
70	No.	Bit Address	Message	Text Color	Blink	Background Color	Blink	Print At Trigger Time(0:OFF; 1:ON)	Print At Recovery Time(0:OFF; 1:ON)
71	1	[PLC1]X00000	警告	7		0		1	1
72	2								
73	8								
74	Summary Setting								
75	No.	Bit Address	Message	Text Color	Blink	Background Color	Blink		
76	i 1	[PLC1]X00000	復旧	7		0			

Font Type(0:Standard Font; 1:Stroke Font)

:フォント「0:標準フォント、1:ストロークフォント」

Font Size : フォントサイズ (標準フォントの場合は例:8 × 16 W:8;H:16、ストロー クフォントは8、16 または32 で設定します。)

No.	: 行番号 (番号は連番でなくてもかまいません。)
Bit Address	: ビットアドレス
Message	:メッセージ
Text Color	:文字カラー
Blink	:ブリンク
Background Color	:背景カラー
Blink	: ブリンク
Print At Trigger Time(0:OFF; 1:ON)	:発報時印刷「0:OFF、1:ON」
Print At Recovery Time(0:OFF; 1:ON)	:復旧時印刷「0:OFF、1:ON」

• Summary Setting: [サマリ]表示(設定項目は「Banner Setting」を参照してください。)

アラーム設定(ブロック1)の設定ガイド

アラーム履歴の発報方法には、[ビット監視]と、[ワード監視]の2種類があります。

ビット監視

ビットの ON/OFF を監視してアラームを発報する設定を行います。

📮 K-;	ス1(無題) 🛛 💕 アラーム	×					<	4 ▷ 🗙
アラーム書	設定 「文字列テー	ブルを使用する	言語設定 日本語	•		<u>エクスオ</u>	<u></u>	<u>-</u> F
共通設定	Ξ ブロック1 ブロック2 ブロック	3 ブロック4 :	ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブנ	טלענ				
④ ピット통	会相 ○ ワード監視			─□ 各アラーム登録でデー	タ取得			
				設定アドレス数 1 🛨				
	_ ジャンプ <u>自動割付</u>	V EZ FU	✓ ログ ✓ アクティブ					
No.	ビットアドレス	発報条件	メッセージ	l	バル	サブ表示画面番号	アドレス1	
1								-=
2								
3								
4								
5								
6								
7								_
8								
9								_
10								_
11								_

	設定項目	設定内容			
ビッ	ット監視	監視ビットアドレスが ON(/OFF)するとアラームが発報します。			
ジ1	ァンプ	入力した登録番号へジャンプします。			
シャンフ 自動割付		[自動割付]ダイアログボックスが表示されます。[開始アドレス]から指定した割合でアドレスを割り付ける設定を行います。 「開始アドレス [FLC1 / 00000 加算ビット数 「「」」」 アドレス加算幅 ※編条件 ビットON ● あまい			
	開始アドレス	自動割り付けを開始するビットアドレスを設定します。			
	加算ビット数	自動割り付けするビットアドレスの数を1~(アラーム設定の最大数-現在の 行の位置 +1) で設定します。			
	アドレス加算幅	自動割り付け時に加算するビット数を0~4096で設定します。			
発報条件監視ビットアドレスが ON/OFF どちらになったときにアラームを発報する 設定します。					
ヒスティ	ストリ・ログ・アク ィブ	[共通設定]タブで設定した表示モードの選択状態が表示されます。 ^{(②ア} 「 アラーム設定(共通設定)の設定ガイド」(19-68 ページ)			

	設定項目	設定内容					
各アラーム登録でデータ 取得		アラームメッセージに対するデータ値を取得するかどうかを指定します。 日本 各アラーム登録でデータ取得 設定アドレス数 3 = □ アドレス1: 同じアドレスを使用する • □ アドレス2: 同じアドレスを使用する • □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
	設定アドレス数	データ値を取得するアドレスの数を1~8で設定します。 設定したアドレス数分、[同じアドレスを使用する]設定行が追加されます。ア ラーム登録一覧ではアドレス設定列が入力可能となります。					
	同じアドレスを使用 する	設定したアドレスのデータ値をアラームメッセージの内容に関係なく、ブロッ ク内で登録されたすべてのメッセージで取得するかどうかを指定します。アド レス設定列の2行目以降は入力できなくなります。					
No.		アラームメッセージの登録番号(行番号)を1~2048で示します。 MEMO • アラームメッセージはビット監視とワード監視をあわせて2048個まで登録で きますが、GPが記憶できるアラームメッセージはアラーム履歴全体で768個 までです。 • IPC シリーズ選択時、アラームメッセージはアラーム履歴全体で10,000個ま で登録できます。					
ビットアドレス		アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。					
発韓	服条件	監視ビットアドレスが ON/OFF どちらになったときにアラームを発報するかを 設定します。					
メッセージ		表示するアラームメッセージを半角 160 文字以内で設定します。 MEMO • [文字列テーブルを使用する]を設定している場合は、文字列テーブルのイン デックス文字数で表示します。					
レベル		各アラームメッセージに重要度レベルを0(重要度低い)~7(重要度高い)で 設定します。初期値は「0」です。アラーム部品で各レベルの発報カラー、確認 カラー、復旧カラーがそれぞれ設定できます。 アラームエディタ <u>アラームエディタ</u> <u>アラームエディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム工ディタ</u> <u>アラーム</u> <u>アラーム</u> <u>アラーム</u> <u>アラーム</u> <u>アラーム</u>					

設定項目	設定内容					
グループ番号	[共通設定]で[グループ機能を使用する]を指定した場合のみ、この項目が表示されます。各アラームメッセージにグループ番号を0~6096で設定します。 ③ アラーム設定(共通設定)の設定ガイド」(19-68ページ) MEMO • [グループ番号]が「0」の場合はカウントされません。					
アラーム部品でサブ表示を行う場合、表示したい画面の番号をベース画面 ~ 9999 で、テキスト番号は0~ 8999 で設定します。 動画再生の場合は再生リストファイルのインデックス No. を設定します。 MEMO ・ サブ表示を必要としない場合は「0」を設定します。初期値は「0」です						
アドレス 1 ~ 8	アラームメッセージに対するデータ値を取得するためのアドレスを設定します。 [設定アドレス数]で指定したアドレス分の入力列が有効になります。 アウセスタイプ ・ビット ・ワード アドレス [Plc1]200000 ・ ビット長 ・16 ビット ・32 ビット データ形式 ・ ビット長 ・16 ビット ・32 ビット データ表示スタイル 表示桁数 ・ 改点桁数 「 の た詰め ・ 右詰め ・ ゼロサブレス フレビュー ・ のKQ キャンセル					
アクセスタイプ	アドレスのタイプを [ビット] または [ワード] から選択します。					
アドレス	 データ値を取得するアドレスを設定します。 MEMO ビットアドレスには、外部接続機器アドレス、内部アドレス、シンボル変数、 システム変数が設定できます。 					
ビット長	データ値のビット長を[16 ビット]または[32 ビット]から選択します。					
データ形式	 [ワードアドレス]に格納される値のデータ形式を [Dec]、[Hex]、[BCD]、[Float] から選択します。 符号 +/- 負の数を扱う場合に設定します。[データ形式]が [Dec] の場合のみ設定できます。 四捨五入 データを表示する際、端数を四捨五入するかどうかを設定します。四捨五入しない場合は端数は切り捨てとなります。[データ形式]が [Float] の場合のみ設定できます。 					

	設定項目	安定項目 設定内容					
		 表示しまし、 し、 	⊼桁数、小数点 ⊼する数値の桁 ⊃ます。小数点 ξす。 E範囲は [ビッ	桁数 数を 1 ~ 11 て 以下の桁数は、 ト長] と [デー	『指定します。[Float」 、「表示桁数 - 1」を - 夕形式] により異なり	選択時は 1 ~ 17 桁で指 最大入力範囲として指定 ります。	
			ビット長	データ形式	表示桁数	小数点桁数	
				Dec	設正	● 10	
			16 H w F	Hex	1~11	0~10	
			10 29 5	BCD	1 11	0 ~ 10	
ק				Dec	1 11	$0 \sim 10$	
ド	デ_ タキー		32 ビット	Hex	1 ~ 11	-	
レ				BCD	1 ~ 11	0 ~ 10	
ス	スタイル			Float	1 ~ 17	0 ~ 16	
1 ≀ 8		• 本数 ゼ表 例 プロ	詰め / 右詰め 直の表示位置を コサプレス 示桁数を揃える シ表示桁数が 4 マ ゼロサブ 不要な「 マビュー	: [左詰め] また ための「0」(⁻ の場合 ⁻ レス 0」は表示しない	とは [右詰め] から選打 ゼロ) を表示するかと 25 ロ ゼロサブ 表示桁数に 「0」を	祝します。 ごうかを指定します。 いス 0025 :足りない分だけ 補って表示	

ワー	ド監視
----	-----

ワードデータの値を監視してアラームを発報する設定を行います。

🔲 K-7	ス 1 (無題) 🗵 💋 アラーム	×					4	$\triangleright \mathbf{X}$
アラーム副	愛定 🗌 文字列テー	ブルを使用する	5 言語設定 日本語	•		<u>エクスポ</u>	<u></u>	<u>-</u> ь
共通設定	ミ ブロック1 ブロック2 ブロック	3 ブロック4 1	ブロック5 ブロック6 ブロック7 ブ	90עם				
○ ビット監	調 💿 ワード監視	データ形式	DEC 💌 🗆 符号+/-	● 各アラーム登録でき	データ取得			
	_ ジャンプ <u>自動割付</u>	🗸 ヒストリ	🗸 Dグ 🗸 アクティブ					
No.	ワードアドレス	発報条件	メッセージ	"	レベル	サブ表示画面番号	アドレス1	-
1								
2								_
3								_
4								_
5								_
7								-
8								-
9								
10								
11								
12								
13								
14								
12 13 14								

設定項目	設定内容						
ワード監視	監視ワードアドレスの値が指定した警報値と一致する、または指定した警報範 囲内にある場合にアラームが発報します。						
	[ワードアドレス]に格納される値のデータ形式を[Dec]、[Hex]、[BCD]から選択します。						
データ形式	 ・編集途中に[データ形式]を変更した場合、[データ形式]に合わせて変換できないデータ(警報値)は「0」になります。 例)Dec 10→Hex 000A Dec 10→BCD 0(変換できないため0と表示されます。) 						
符号 +/	警報値に負の数を扱う場合に設定します。[データ形式]が[Dec]の場合のみ設 定できます。						
ジャンプ	入力した登録番号へジャンプします。						
自動割付	[自動割付]ダイアログボックスが表示されます。[開始アドレス]から指定した割合でアドレスを割り付ける設定を行います。						
	次のページに続きます。						

	設定項目	設定内容
	開始アドレス	自動割り付けを開始するワードアドレスを設定します。
自動割付	加算ワード数	自動割り付けするワードアドレスの数を1~(アラーム設定の最大数 - 現在の 行の位置 +1) で設定します。
	アドレス加算幅	自動割り付け時に加算するワード数を0~4096で設定します。
	発報条件	アラームが発報する条件を設定します。 定]ダイアログボックスを表示します。
ヒ; テ・	ストリ・ログ・アク ィブ	[共通設定]タブで設定した表示モードの選択状態が表示されます。 [☞] 「 アラーム設定(共通設定)の設定ガイド」(19-68 ページ)
各アラーム登録でデータ 取得		アラームメッセージに対するデータ値を取得するかどうかを指定します。 マラームメッセージに対するデータ値を取得するかどうかを指定します。 設定アドレス数 3 == □ アドレス1: 同じアドレスを使用する • □ アドレス2: 同じアドレスを使用する • □ □ アドレス2: □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	設定アドレス数	データ値を取得するアドレスの数を1~8で設定します。 設定したアドレス数分、[同じアドレスを使用する]設定行が追加されます。ア ラーム登録一覧ではアドレス設定列が入力可能となります。
	同じアドレスを使用 する	設定したアドレスのデータ値をアラームメッセージの内容に関係なく、ブロッ ク内で登録されたすべてのメッセージで取得するかどうかを指定します。アド レス設定列の2行目以降は入力できなくなります。
No. ワードアドレス		アラームメッセージの登録番号(行番号)を1~768で示します。 MEMO • アラームメッセージはビット監視とワード監視をあわせて 2048 個まで登録で きますが、GP が記憶できるアラームメッセージはアラーム履歴全体で 768 個 までです。 • IPC シリーズ選択時、アラームメッセージはアラーム履歴全体で 10,000 個ま で登録できます。
		アラームの発報を監視するワードアドレスを設定します。 重要 • [監視ビットアドレス]または[監視ワードアドレス]は両方合わせてアラー ム履歴全体 (ブロック1~ブロック8)で256 ワード以内に収めてください。

	設定項目	設定内容						
		アラームが発報する条件となる警報値を設定します。セルの をク リックして [発報条件設定] ダイアログボックスを表示します。						
			ቇ 発報	条件設定	×			
			「 範囲	指定				
発幸	服条件		ى 16 ئ	ット O 32 ビット				
			警報値	ρ				
			[PLC)]D00000 = 0				
					OK(() キャンセル			
	16 ビット・32 ビッ ト	警報値のビッ	ト長を [16 ビ	ע ⊢]、[32 ₪	ビット]から選択します。			
		監視するワー を設定します	ドアドレスに。 。設定範囲は	どの範囲の([データ形ェ	直が格納されたらアラームを発報するか ∜]と[符号 +/─] により異なります。			
		ビット長	データ形式	符号 +/-	設定範囲			
			Dec	有	-32768 ~ 32767			
	警報値	16 ビット		無	0 ~ 65535			
			Hex		$0 \sim \text{FFFF}$			
		32 ビット	вср	右	$0 \sim 9999$			
			Dec	 毎	-2147483048 $21474830470 ~ 4294967295$			
			Hex	_	$0 \sim \text{FFFFFFFF}$			
			BCD	—	0 ~ 99999999			
		警報値を範囲 す。	指定するかど [.]	うかを設定し	します。次のような表示に切り替わりま			
		◎ 発糧条件設定 🛛 🗙						
		▼ 範囲指定						
			ى 16 ق	ット O 32 ビット				
			上限値	65535				
	範囲指定		下限値	D				
			警報睡	∰ 0 ≦ [PLC1]D0	0000 ≦ 65535			
				 ・ ・ ・	指定			
				○ 正常範囲を	恒正			
					OK((2) キャンセル			

次のページに続きます。

		設定項目	設定内容						
			監視するワー を設定します	ドアドレスに。 。設定範囲は	どの範囲の値 [データ形式	直が格納されたらアラームを発報するか 饣] と [符号 +/−] により異なります。			
			ビット長	データ形式	符号 +/-	設定範囲			
					有	-32768 ~ 32767			
				Dec	無	0 ~ 65535			
		上限値・下限値	16 ヒット	Hex		$0 \sim FFFF$			
				BCD		0 ~ 9999			
				P	有	-2147483648 ~ 2147483647			
発	範			Dec	無	0 ~ 4294967295			
報	囲		32 ビット	Hex	_	0 ~ FFFFFFF			
条	指			BCD	_	0 ~ 99999999			
件	定								
		警報範囲	指定した警報	範囲を表示し	ます。				
		警報範囲を指定 正常範囲を指定	 ・ 警報範囲を指定 「下限値 アドレス値 上限値」で警報範囲を設定します。 ・ 正常範囲を指定 「下限値 アドレス値 or アドレス値 上限値」で警報範囲を設定します。 MEMO ・ 警報値の前後を頻繁に行き来するような値が[ワードアドレス]に格納された 場合、アラームが頻繁に発報します。 例) 50≦警報範囲≦100の場合 						
メッセージ			表示するアラ MEMO ・ [文字列テ- デックス文	ームメッセー - ブルを使用す 字数で表示しる	ジを半角 160 「る] を設定 ます。)文字以内で設定します。 している場合は、文字列テーブルのイン			

設定項目	設定内容		
	各アラームメッセージに重要度レベルを0(重要度低い)~7(重要度高い)で 設定します。初期値は「0」です。アラーム部品で各レベルの発報カラー、確認 カラー、復旧カラーがそれぞれ設定できます。		
レベル	アラームエディタ X1000 アドレス メッセージレベル X1000 X1000 X1001 温度低下 : :		
	アラーム内容に応じて 8 段階に色や属性を 決められます。		
	^{CGP} 「19.10.2 アラーム部品の設定ガイド 履歴表示 カラー設定」(19-106 ページ)		
	[共通設定]で[グループ機能を使用する]を設定した場合のみ、この項目が表 示されます。各アラームメッセージにグループ番号を 0 ~ 6096 で設定します。		
グループ番号	^{「②} 「 アラーム設定(共通設定)の設定ガイド」(19-68 ページ)		
	[<u>MEMO</u>] ・ [グループ番号] が「0」の場合はカウントされません。		
サプ表示画面番号	アラーム部品でサブ表示を行う場合、表示したい画面の番号をベース画面は 0 ~ 9999 で、テキスト番号は 0 ~ 8999 で設定します。 動画再生の場合は再生リストファイルのインデックス No.を設定します。		
	MEMO ・ サブ表示を必要としない場合は「0」を設定します。初期値は「0」です。		
	アラームメッセージに対するデータ値を取得するためのアドレスを設定します。 [設定アドレス数]で指定したアドレス分の入力列が有効になります。		
	参 アドレス設定		
	アクセスタイプ C ビット C ワード アドレス [[PLG1]X00000 ・		
	ビット長 © 16 ビット O 32 ビット		
アドレス 1 ~ 8	データ形式 Dec ▼ 「 符号+/- 「 四捨五入		
	データ表示スタイル 表示桁数 「5 「1 「1 「1 「1 「1 「1 「1 」 「1 」 「1 」 「1 」 」 「1 」 」 「1 」 」 「1 」 」 」 「1 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」		
	OK(Q) キャンセル		
アクセスタイプ	アドレスのタイプを [ビット] または [ワード] から選択します。		
	データ値を取得するアドレスを設定します。 		
アドレス			
	 ビットアドレスには、外部接続機器アドレス、内部アドレス、シンボル変数、 システム変数が設定できます。 		

	設定項目				設定内容			
	ビット長	データ	データ値のビット長を [16 ビット] または [32 ビット] から選択します。					
アドレス1~ 8	データ形式	[ワー選号のす 掛子し設	 [ワードアドレス]に格納される値のデータ形式を [Dec]、[Hex]、[BCD]、[Float] から選択します。 符号 +/- 負の数を扱う場合に設定します。[データ形式]が [Dec] の場合のみ設定できます。 四捨五入 データを表示する際、端数を四捨五入するかどうかを設定します。四捨五入 しない場合は端数は切り捨てとなります。[データ形式]が [Float] の場合のみ 設定できます。 					
		 表示 表示 しま しま 	< <p><<p><<p><<p><<p><<p><<p><<p><<p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	新数 数を1~11て (以下の桁数は、 ト長]と[デー	[*] 指定します。[Float」 、「表示桁数 - 1」を - 夕形式] により異な「 表示桁数	選択時は1 ~ 17 桁で打 最大入力範囲として指定 ります。 小数点桁数	指定	
_	データ表示	ビット長	データ形式	設定	範囲			
		16 ビット	Dec	1 ~ 11	0 ~ 10			
			Hex	1 ~ 11	-			
			BCD	1 ~ 11	0 ~ 10			
				Dec	1 ~ 11	0 ~ 10		
		32 ビット	Hex	1 ~ 11	-			
			52 C 91	BCD	1 ~ 11	0 ~ 10		
	スタイル		Float	1 ~ 17	0 ~ 16	ļ		
		• 左数 ゼ表 例 プ設	詰め / 右詰め 直の表示位置を コサプレス 示桁数を揃える する示桁数が 4 ▼ ゼロサブ 不要な「 マロー こに応じてデー	: [左詰め] また ための「0」(⁻ の場合 ² レス 0」は表示しない	とは [右詰め] から選打 ゼロ) を表示するかと 25 ロゼロサプ 表示桁数に 「0 」を ージを表示します。	Rします。 ごうかを指定します。 いス 0025 足りない分だけ 補って表示		

データ値取得のタイミング

[アドレス]列で設定したアドレスのデータ値は、アラーム発生の立ち上がり(または立ち下がり) アラーム確認、アラーム復旧の各タイミングでデータ収集を行います。



データ値取得のタイミングはアラーム部品の[基本設定]で設定した[表示モード]により異なります。

[ヒストリ] :発報時のデータ値を表示

日付 07/07/05	時刻 10:10	メッセージ 圧力異常	確認 10:12	復日 10:13	アドレス1 50
∥ ·	•	•	•	•	·
· ·	•	•	•	•	•
· ·	•	•	•	•	•

[ログ] :発報・確認・復旧時のデータ値を表示

日付	時刻	メッセージ	確認	復旧	アドレス1
07/07/05 07/07/05	10:10	圧力異常 圧力異常	10:12		50 50
07/07/05		圧力異常		10:13	100
•	•	•	•	•	•
.	•	•	•	•	•
·	•	•	•	•	•

[アクティブ]:発報時のデータ値を表示

日付 07/07/05	- 時刻 10:10	メッセージ 圧力異常	アドレス1 50
•	•		··· .
· ·	•	•	•
•	•	•	•

アラーム設定(流れ)の設定ガイド

アラームメッセージを流れ表示する設定を行います。

📮 ベース	、1(無題) 🔀 💕 アラーム	×		$\triangleleft \triangleright {\bf X}$
アラーム影	定 🔲 文字列テーブルを使	用する 言語設定 日本語		エクスポート インポート
共通設定	[שמים למים ל למים ל	3 ブロック4 ブロック5 ブロック6 フ	ブロック7 ブロック8 流れ	
文字カラ~	- 🗖 - Juuo 🏾	し 🗾 フォント 標準フォン	ト 💌 サイズ 8×16 💌	
背景カラ~	- 🗾 Juna 🗐	し 🔽 📃 ジャンプ	自動割付	
No.	ビットアドレス	メッセージ	発報時印刷	復日時印刷 🔺
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				_

設定項目	設定内容
文字カラー	表示するアラームメッセージの文字の色を設定します。
背景カラー	表示するアラームメッセージの背景の色を設定します。
プリンク	 点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[文字カラー]、[背景カラー] それぞれにプリンクの設定が可能です。 MEMO ・本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合があります。 ☞「8.5.1カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)
フォント	表示するアラームメッセージの文字フォントを [標準フォント]、 [ストローク フォント] から選択します。
サイズ	表示するアラームメッセージの文字のサイズを選択します。[フォントタイプ] により設定が異なります。 標準フォント: [8 × 16]、[8 × 32]、[8 × 64]、[16 × 16]、[16 × 32]、 [16 × 64]、[32 × 16]、[32 × 32]、[32 × 64] から選択 ストロークフォント: [8]、[16]、[32] から選択
ジャンプ	入力した登録番号へジャンプします。

	設定項目	設定内容				
自動割付		[自動割付]ダイアログボックスが表示されます。先頭指定したアドレスから指 定した割合でアドレスを割り付ける設定を行います。				
		MEMO ・すでにアドレスが設定されている場合は上書きされます。				
	開始アドレス	自動割り付けを開始するビットアドレスを設定します。				
加算ビット数 自動割り付けするビットアドレスの数を1~(アラーム設定の最大数 行の位置+1)で設定します。						
	アドレス加算幅	自動割り付け時に加算するビット数を0~4096で設定します。				
	発報時印刷	 アラーム発報時(または復旧時)に、発報(復旧)した時間とアラームメッ				
	復旧時印刷	セージを印刷するかどうかを設定します。[ON] の場合に印刷を行います。				
No		流れアラームメッセージの登録番号(行番号)を1~512で示します。				
ビットアドレス		アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。監視ビットアドレスがON(発報)すると、アラームメッセージを流れ表示します。監視ビットアドレスがOFF(復旧)すると流れ表示を終了します。 MEMO ・ 監視ビットアドレスはアラームメッセージ(流れ表示)全体で128 ワード以				
		内に収めてください。				
		表示するアラームメッセージを半角 160 文字以内で設定します。 				
メッセージ		MEMO ・ [文字列テーブルを使用する]を設定している場合は、文字列テーブルのイン デックス文字数で表示します。				

設定項目	設	定内容	
設定項目 発報時印刷 復旧時印刷	 設定 アラーム発報時(または復旧時)に、 セージを印刷するかどうかを設定しま MEMO 印字色は黒のみになります。 印字の際のフォントは[アラーム設定 印字されます。 「発報」、「復旧」などの状態が、アラ ている場合は日本語で、日本語以外 語(簡体字)、キリル文字、タイ語) [言語設定]が[日本語]の場合 発報 10/15 16:07 10/15 16:07 10/21 11:25 発報 10/21 11:28 10/21 15:45 GP はアラームメッセージ(流れ表示 の印刷情報を最大 1,000 個まで記憶され 超えたメッセージは記憶されません。 印字中に紙切れなどでプリンタがオ 	定内容 発報(復旧)した時間とアラ す。[ON]の場合に印刷を行い 定]の[流れ]タブで設定した ラームメッセージの言語を日本 (欧米、韓国語、中国語(繁 の場合は英語で自動的に出力 [言語設定]が[中国語(繁体 WARNING NG RESTORED WARNING NG RESTORED 10/15 16:07 10/15 16:07 10/21 11:25 10/21 11:25 10/21 11:28 RESTORED 10/21 15:45 東語 た)アラーム履歴(リアルタ できます。GP とプリンタが表 い印字待ち状態になりますか の フライン状態になった場合は	テームメッ 1ます。 こフォントで 本語字)、 なし なたし なたし なたし なたし なたし なたし なたし
	 超えたメッセージは記憶されません。 印字中に紙切れなどでプリンタがオ を切らずにプリンタの処置を行い、 オフライン中に GP に記憶された印刷 タに送り出されます。 印字中にプリンタの電源が切れると、 字されません。 	、 GPF (FOK) 感になりよりが 。 フライン状態になった場合は プリンタをオンラインにして 剥情報はオンラインになった! 、その間に GP から送り出さ:	、GP の電源 ください。 時点でプリン れた情報は印

アラーム設定(サマリ)の設定ガイド

発報中のアラームをリスト表示する設定を行います。

🔲 K-;	📮 ベース 1 (無題) 🗙 🛃 アラーム 🗙					
アラーム副	没定 🔲 文字列テーブルを使	用する 言語設定	日本語	•	エクスポート インポート	
共通設定	בעים ל לייםל לייםל	3 [ブロック4] ブロック5]	ブロック6 ブロック	7 [ブロック8 サマリ]		
文字力分	 一 7 JUD9 無 	10 🔽				
背景力ラ	 一 ゴリンク 無 	1. J	ジャンプ 🔒	<u>目動割付…</u>		
No.	ビットアドレス			メッセージ	A	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

設定項目	設定内容			
文字カラー	表示するアラームメッセージの文字の色を設定します。			
背景カラー	表示するアラームメッセージの背景の色を設定します。			
	点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[文字カラー]、[背景カラー] にブリンクの設定が可能です。			
ブリンク	MEMO • 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合が あります。			
	☞ 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)			
ジャンプ	入力した登録番号へジャンプします。			
	[自動割付]ダイアログボックスが表示されます。[開始アドレス]から指定し た割合でアドレスを割り付ける設定を行います。			
	ぼう (PLC1)×00000 「 「 」 「 」 「 」 」 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」			
自動割付	加算ビット数 1 <u>三</u> アドレス加算幅 1 <u>三</u> 1			
	MEMO ・ すでにアドレスが設定されている場合は上書きされます。			
L				

	設定項目	設定内容
	開始アドレス	自動割り付けを開始するビットアドレスを設定します。
自動割付	加算ビット数	自動割り付けするビットアドレスの数を1~(アラーム設定の最大数 - 現在の 行の位置 +1) で設定します。
	アドレス加算幅	自動割り付け時に加算するビット数を 0 ~ 4096 で設定します。
No		アラームメッセージの登録番号(行番号)を1~ 8999 で示します。
ビットアドレス		 アラームの発報を監視するビットアドレスを設定します。監視ビットアドレスがONすると、アラームが発報しアラームメッセージが表示されます。監視ビットアドレスがOFFするとアラームが復旧しアラームメッセージが消去されます。 MEMO 監視ビットアドレスにはワード指定できるビットデバイス、またはビット指定できるワードデバイスを指定してください。1つのアラーム部品(サマリ表示)に表示するアラームメッセージの監視ビットアドレスは同じデバイス内の連続アドレスで割り付けてください。種類の異なるデバイスにまたがって設定することはできません。
メッセージ		表示するアラームメッセージを半角 160 文字以内で設定します。 MEMO ・ [文字列テーブルを使用する]を設定している場合は、文字列テープルのイン デックス文字数で表示します。

19.10.2 アラーム部品の設定ガイド

[アラーム設定]で登録したアラームメッセージを表示する部品の設定を行います。表示方法には[履 歴表示]と[サマリ表示]の2種類があります。

🏄 アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0000 🔆	<u>→</u>	
	履歴表示 サマリ表示	
	- 表示形式	
	表示ブロック 表示モード	
	לעטלז 💌 צאיט 💌	
	表示開始行	
	表示行数 10 二 單	
アラーム登録		
ヘルプ(円)	OK(Q) キャンセル	

設定項目	設定内容			
部品 ID	配置された部品には ID 番号が自動的に割り当てられます。 アラーム部品の ID:AD ****(数字4桁) 英字部分は固定です。数字部分は 0000 ~ 9999 の範囲で変更できます。			
コメント	。 3品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。			
アラーム登録	共通設定 [アラーム設定]へ移行します。			
表示タイプ	 アラーム部品の種類を選択します。 履歴表示 アラームメッセージを発報した順に行単位で表示します。 (3) 「 履歴表示」(19-99 ページ) サマリ表示 発生中のアラームメッセージのみをリスト表示します。 (3) 「 サマリ表示」(19-131 ページ) 			

履歴表示

アラームメッセージを発報した順に行単位で表示します。

基本設定 / 基本

アラームメッセージの表示の形式を設定します。

<i>参</i> アラーム		×	1
※ アラーム 部品ID AD_0000 当 コメント	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状]
アラーム登録 ヘルプ(<u>H</u>)	<u>OK@</u>	キャンセル	

	設定項目	設定内容
表示形式		アラーム履歴表示の形式を設定します。
	表示したいアラームメッセージが登録されているブロックを [ブロック 1] ~ [ブロック 8] から選択します。	
	表示モード	アラームメッセージの表示方式を [ヒストリ]、 [ログ]、 [アクティブ] から選 択します。 ^{CGP} 「19.10.1 共通設定(アラーム設定)の設定ガイド アラーム設定(共通設 定)の設定ガイド」(19-68 ページ)
表示開始行 アラームメッセージを何行目から表示させるかを1~768 で記 表示行数 1 画面に何行のアラームメッセージを表示するかを1~50 行		アラームメッセージを何行目から表示させるかを1~ 768 で設定します。
		1画面に何行のアラームメッセージを表示するかを1~50行で設定します。
	表示行間	表示するアラームメッセージ同士の行間隔をドット数 0 ~ 7 で設定します。 A 0~7ドットで設定 A

基本設定 / 詳細

アラームメッセージの表示方向やソート順を変更できます。

💰 アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0001	Σ.	<u>·基本</u>
	★ 二 17/10 11月7日3621/2 月入入3621/2	
	表示形式	
	ブロック1 レストリ	
	表示開始行 📃 🗮	
	表示行数 11 🔤 🧮	
	表示行間 📃 🗮 🗰	
	表示方向 下→上 🔽	
	● 表示小順序 発生日時の新しい順 ■ □ 逆順表示	
アラーム登録		
ヘルプ(圧)	OK@	キャンセル

設定項目	設定内容			
表示方向	表示するアラームメッセージのスクロール方向を [下→上][上→下]から選択 します。 登録メッセージ 第1ポンプ閉 Aタンク水位低下 Bタンク圧力異常 : : ・ スクロール方向「下→上」の場合 スクロール方向「下→上」の場合 スクロール方向「下→上」の場合 スクロール方向「下→上」の場合 スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合 · スクロール方向「上→下」の場合			
表示順序	アラームメッセージの表示する順序を [発生日時の新しい順]、[発生回数の多い順]、[累積時間の長い順]、[レベル高&発生日時の新しい順]、[レベル高& 発生回数の多い順]、[アラーム登録順]から選択します。			
逆順表示	[表示順序]で選択した順番の逆の順番で表示します。			

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

項目設定 / 基本

アラーム部品に表示する項目や文字数、日付・時間のフォーマットなどを設定します。項目名は GP 画面には表示されません。項目名を表示したい場合は [詳細]で設定できます。

🏄 アラーム		×
部品ID	基本設定 1項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD 0000	表示文字数 表示顺序	<u>>>≣羊細</u>
<u>الربح</u>	左余白 0 二 m ▲ ✓ 日付 8 二 m ▲ ✓ 発報 5 二 m ↓ ✓ 確認 5 二 m ↓	
	□ 回数 5 □ 累積 11 □ レベル 7 □ アドレス 9 □ アドレス1 ▼	
アラーム登録		
ヘルプ(<u>H</u>)	OK(Q)	キャンセル

設定項目	設定内容		
	ー番左端の項目と枠の間の余白を設定します。[表示文字数]と[左余白]の合 計が半角160字以内になるよう設定します。		
左余白	↔08/17/04 13:20 圧力異常 この余白を設定します。		

設定項目	設定内容		
表示する項目の選択	 [日付]、[発報]、[メッセージ]、[確認]、[復旧]、[回数]、[累積]、 [レベル]、[アドレス]からアラーム部品に表示する項目を選択します。 日付 アラームが発報した日付を表示します。 発報 アラームが発報した時間を表示します。 メッセージ アラームメッセージを表示します。 確認 アラームメッセージを確認した時間を表示します。 確認 アラームが復旧した時間を表示します。 回数 アラームが発報した回数を表示します。最大カウント数は 65535 回までです。 累積 アラームが発報している間の累積時間を表示します。最大時間は 9999 時間 59 分 59 秒までです。 レベル アラームが発報したときのデータ値を表示します。 アドレス アラームが発報したときのデータ値を表示します。 (回数]、[累積時間]は最大回数、最大時間に達するとそれ以降は変化しません。 		
表示文字数	各項目の表示文字数を設定します。表示する項目の[表示文字数]と[左余白] の合計が半角160字以内になるよう設定します。 MEMO ・ 各項目間でスペースをあける場合は、実際に表示する文字数より多めに設定 してください。 08/17/04 13:20 圧力異常 設定した表示文字数:10 実際の表示文字数:8 スペース分の文字数:2		

設定項目	設定内容		
	各項目の表示順序を設定します。上から順番に設定した項目がアラーム部品で は左から右の並びに表示されます。		
	表示順序 学報 学校T ^ジ 確認 復日		
表示順序 • [アドレス]を設定した場合、スクロールする位置のセパレータた す。表示器上では、セパレータより上にある項目はスクロールを 表示できます。			
	表示順序 日付 発報 ジッセージ 確認 復日 アドレス1 ゼ <u>パレータ</u> アドレス2 アドレス3		
	 セパレータおよびアドレス1~8は日付~レベルの間には移動できません。 		
フォーマット	日付、時間のフォーマットを設定します。		
日付	表示する日付のフォーマットを [mm/dd/yy]、[mm/dd]、[yy/mm/dd]、[dd/mm/yy] から選択します。		
時間	表示する時間のフォーマットを [12:00]、[24:00]、[12:00:00]、[24:00:00] から 選択します。		

項目設定 / 詳細

アラーム部品に表示する項目名の設定ができます。

項目名なし

08/17/04	15: 10	A タンク…
08/17/04	16:23	Βタンク…
1		
1	1	
i	1	
	1	
1	1	1

頂	目	名	あ	IJ
---	---	---	---	----

日付 発報 メッセージ 08/11/04 15:10 Aタンク… 08/11/04 16:23 Bタンク…

🏄 アラーム				×
部品ID	基本設定項目設計	定 カラー設定 表示	示設定 サブ表示設定 スイ	「ッチ設定│カーソル形状│
AD 0000 🚊		表示文字数	項目名を表示	表示順序 ────────
	左余白	0 🗄 🗰		
I	▶ 日付	8 🗄 🗰	☑日付	メッセージ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	▼ 発報	5 🗄 🏢	✓	復日 (復日) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (1
	▼ メッセージ	11 🗄 🏢	✓ x v t z = 22	
	☑ 確認	5 🕂 🛲		
	☑ 復旧	5 🗄 📾		
	□ 回数	5 = =		
	□ 累積	11 = =	Г [
		7 🖶 📾	Γ	
	「アドレス」			- フォーマット 日付 vy/mm/dd ▼
	□ アドレス1		Г Г	時間 24:00 🔽
	一項日々まデ設定			
		◉ 直接文字列	○ 文字列テーブ	JI.
	フォントタイプ	標準フォント	▼ サイズ	8 × 16 ドット 🔻
	表示言語	日本語	 ▼ 文字飾り 	標準 ▼
アラーム登録	- 表示カラー	□ 7 ▼ ブリング		
	背景カラー	透明 マ ブリング		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· _	
A 11-27(LI)				

	設定項目	設定内容
項	目名を表示	項目名を表示したい項目にチェックを入れ、項目名として表示する文字列を設 定します。
頂	目名表示設定	項目名の表示の設定を行います。
	直接文字列 / 文字列 テーブル	項目名を直接入力するか文字列テーブルに登録した文字列を参照するかを設定 します。 • 直接文字列 表示する項目名を直接入力します。 • 文字列テーブル 文字列テーブルに登録された項目名を使用します。 ^C ●「17.9.6 アラーム部品 - 項目設定 / 詳細(文字列テーブル)の設定ガイド」 (17-69 ページ)
	フォントタイプ	表示する項目名のフォントのタイプを [標準フォント]、[ストロークフォント] から選択します。

	設定項目	設定内容
項目名表示設定	サイズ	表示する項目名の文字のサイズを設定します。 標準フォント:[8 × 8] ~ [64 × 128]まで横×縦を 8 ドット単位で指定するか、 [6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定します。固定 サイズは半角英数字のみ表示できます。 ストロークフォント:6 ~ 127
	表示言語	[直接文字列]を指定した場合に、表示する項目名の言語を[日本語]、[欧米]、 [中国語 (繁体字)]、[中国語 (簡体字)]、[韓国語]、[キリル文字]、 [タイ語] から選択します。
	文字飾り	フォントの文字飾りを選択します。 標準フォント:[標準]、[太字]、[影付き]から選択 (固定サイズ[6 × 10]の場合は[標準]、[影付き]から選択) ストロークフォント:[標準]、[太字]、[中抜き]から選択
	表示カラー	表示する項目名の文字の色を設定します。
	ブリンク	 点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。 MEMO 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合があります。 ☞「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35ページ)
	背景カラー	 アラーム部品の背景の色を設定します。[アドレス]を設定したときのみ表示されます。 MEMO スクロールされる項目があるときは、項目名の背景色を透明以外に設定してください。透明に設定すると、文字が重なって表示されることがあります。
	影カラー	[文字飾り]で[影付き]を選択した場合設定できます。影の色を設定します。
	プリンク	 影カラーの点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。 MEMO 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合があります。 (3)「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

カラー設定

アラームメッセージを[発報]、[確認]、[復旧]の状態によって色分けして表示できます。 アラームメッセージの登録時にアラームにレベル付けされている場合は、レベルごとに色分けするこ ともできます。

基本設定 項目設定 (カラー設定) 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状
カラー設定
発報 発報
······································
表示カラー 17 ゴ ブリンク 無し ゴ
クリアカラー 🔳 ブリンク 無し 👤
OK(の) キャンセル

	設定項目	設定内容
カラー設定		アラームメッセージの状態(発報、確認、復旧)に応じて表示する色の設定を行 います。
	レベルによる色替え	$[\overline{P} \overline{P} - \Delta \exists \exists 2] \overline{CP} \overline{P} - \Delta \forall \forall$
	発報 / 確認 / 復旧	どの状態のカラー設定を行うかを指定します。 MEMO 復旧しているアラームメッセージを確認しても、表示は復旧カラーのままとなります。
	表示カラー	アラームメッセージの文字の色を設定します。
	背景カラー	アラームメッセージの背景色を設定します。
クリ	リアカラー	アラームメッセージがクリアされたとき、またはアラームメッセージを表示し ていないときの色を設定します。
プリンク		点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[表示カラー]、[背景カラー]、 [クリアカラー]それぞれにプリンクの設定が可能です。 MEMO ・本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合が あります。 ^{CG™} 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

表示設定

表示するアラームメッセージのフォントや枠を設定します。

\delta アラーム		×
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
AD_0001 📑	表示フォント設定	
	フォントタイプ 「標準フォント 🔽 サイズ 8×16 ドット 🔽	
	枠表示	
	枠なし 外枠 外枠+横罫線	
アラーム登録		
<u>へルプ(H)</u>	OK(Q) キャンセル	

	設定項目	設定内容
表	示フォント設定	表示するフォントの設定を行います。
	フォントタイプ	表示するアラームメッセージのフォントタイプを [標準フォント]、 [ストローク フォント] から選択します。
	サイズ	表示する項目名の文字のサイズを設定します。 標準フォント:[8 × 8] ~ [64 × 128]まで横×縦を8ドット単位で指定するか、 [6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定します。固定 サイズは半角英数字のみ表示できます。 ストロークフォント:6 ~ 127
枠表示		 アラーム部品の枠表示を [枠なし]、 [外枠]、 [外枠+横罫線]から選択します。 MEMO 枠および罫線の色は白固定です。 [外枠+横罫線]を選択する場合は、 [表示行間]を「1」以上に設定してください。「0」の場合は横罫線が表示されません。
サブ表示設定 / 基本

🎸 アラーム					X
部品ID	基本設定 項目設定 :	カラー設定 表示設定	サブ表示設定	スイッチ設定 カーソル	形状)
AD_0001 🔆	▼ サブ表示を使用す	3			<u>>>言羊糸田</u>
	#-7±=b/→		5-17##		
I	サノ表示タイノ		17/2°	<u> </u>	
77. 1 29.43					
<u>ヘルプ(H)</u>				OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容	
サブ表示を使用する	サプ表示を行うかどうかを設定します。	
サプ表示タイプ	サブ表示のタイプを選択します。 ・ベース画面切替 表示自体を他の画面に切り替えます。通常の画面切り替えと同じ動作になりま す。[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]には切り替え先の[ベース画面番 号]を設定します。 ・テキストウィンドウ表示 [テキスト]をウィンドウ表示します。[アラーム設定]の[サプ表示画面番号] にはウィンドウに表示する[テキスト番号]を設定します。 サブ表示タイプ 「デキストウィンドウ表示 ▼ ウィンドウサイズ ○大 ○小 注意:テキストはー行20文字以内で登録してください。	
ウィンドウサイズ	[サプ表示タイプ]で[テキストウィンドウ表示]を選択した場合、テキストを表示するウィンドウの大きさを[大]、[小]から選択します。 MEMO ・ ウィンドウ表示できるテキストの一行の文字数は以下のとおりです。 ウィンドウサイズ大:30文字以内 ウィンドウサイズ小:20文字以内 ・ ウィンドウサイズを[大]に設定した場合、GP上でウィンドウが完全に表示されない機種があります。 ^G 「19.11.2 サプ表示設定 / 詳細の制限事項」(19-151 ページ)	

MEMO

サブ画面表示中に不可視状態に切り替わると、アラーム部品は非表示になりますが、
 サブ画面は引き続き表示されます。

☞ 「20.3 オブジェクトの表示 / 非表示を必要に応じて切り替えたい」(20-8 ページ)

サブ表示設定 / 詳細

ベース画面やウィンドウ画面を切り替えてサブ表示したり、図形表示器やメッセージ表示器 [テキスト表示]、動画表示器を使用してベース画面上やウィンドウ画面上にサブ表示させる設定を行います。

💣 アラーム				×
部品ID	「基本設定│項目設定│カラー設定	表示設定サブ表示設定スイッ	チ設定「カーソル形状」	
AD_0001	☑ サブ表示を使用する			<u>≫基本</u>
	サブ表示タイプ	ベース画面	•	
	動作設定	画面切替	•	
		画面の種類: ベース画面		
	オフセット	p 😑 📰		
	同じなくしたトジャ			
	● サージル表示			
アラーム登録				
- 1 = 2/1) - 1				
<u></u>				キャンセル

設定項目	設定内容
サブ表示を使用する	サブ表示を行うかどうかを設定します。
サブ表示タイプ	 サブ表示のタイプを選択します。 ベース画面 表示自体を他の画面に切り替えたり、ベース画面上に直接図形やテキストを表示します。 ウィンドウ サブ画面をウィンドウ表示します。ウィンドウを切り替えて表示したり、ウィ ンドウ上に図形やテキストを表示します。 MEMO [アラーム設定]のサブ表示画面番号が「0」のアラームメッセージに対しては サブ表示しません。





設定項目	設定内容
ダイレクト選択	表示中のアラームメッセージを直接タッチして選択します。サブ表示が設定されているアラームメッセージをタッチした場合、サブ画面が表示されます。 4 03/12/15 20:23 圧力異常 指定しない場合は[スイッチ設定]タブで[サブ表示]スイッチを配置し、サブ 表示を行います。
カーソル表示	[ダイレクト選択]指定時に、タッチしたアラームメッセージにカーソルを表示 するかどうかを設定します。 MEMO ・カーソル表示を設定している場合、不可視状態に切り替わってもカーソル表示 設定は有効です。可視状態に切り替わるとカーソルが表示されます。 ^{(愛} 「20.3 オブジェクトの表示/非表示を必要に応じて切り替えたい(20-8ペー ジ)
[ベース画面] - [画面 切替]	表示自体を他の画面に切り替えます。通常の画面切り替えと同じ動作になります。 レ サブ表示を使用する サブ表示タイプ ベース画面 ・ 動作設定 画面切替 ・ 画面の種類: ベース画面 オフセット 0
オフセット	サプ表示画面番号のオフセット値を0~9999で設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号+オフセット値の番号の画面が表示されま す。

設定項目	設定内容
	アラーム部品と同じ画面に配置した図形表示器に、アラームメッセージに対応し た図形を表示します。
	▶ サブ表示を使用する
	サブ表示タイプ ベース画面 マ
[ベース画面] - [図形	動作設定
表示切替]	画面の種類: ベース画面
	図形表示ワードアドレス [#INTERNAL]LS0000 🔤
	オフセット 🏾 🖃 🔳
	消去用ベース番号 1 三 王
図形表示ワードア ドレス	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]で設定した番号を格納するための、GP 内部デバイス(LSエリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格 納された番号が、図形表示器に表示するペース画面番号となります。 アラーム部品と同じ画面に配置した図形表示器の[ワードアドレス]にも、同じ アドレスを設定します。
	▲ MEMO ▲ ● 図形表示器の設定は、[画面の種類]は[ベース画面]、[画面指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]にしてください。
オフセット	サブ表示画面番号のオフセット値を 0 ~ 9999 で設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号 + オフセット値の番号の画面が表示されま す。
消去用ベース番号	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]が「0」のアラームメッセージを選択した場合、ここで指定したベース画面を呼び出して、前に表示している画面を消去します。消去用に作成した画面(例えば黒の塗り込み四角形を描画するなどした画面)の番号を1~9999で設定します。

設定項目		設定内容
		アラーム部品と同じ画面に配置したメッセージ表示器に、アラームメッセージに 対応したテキストを表示します。
		▶ サブ表示を使用する
		サブ表示タイプ ベース画面 💌
[ベース	ス画面] - [テキ	動作設定 テキスト表示切替
- スト表	示切替]	画面の種類: テキスト
		テキスト表示ワードアドレス [#INTERNAL]LS0000 💼
		オフセット 🏴 🧾
		消去用テキスト番号 📃 🧮
		「アラーム設定」の「サブ表示画面番号」で設定した番号を格納するための、GP
		内部デバイス(LSエリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格
		納された留ちが、メッセージ表示器に表示するテキスト留ちとなります。 アラーム部品と同じ画面に配置したメッセージ表示器の[テキスト番号ワードア
		ドレス]にも、同じアドレスを設定します。
		● メラセージ表示器 部品ID 基本設定 表示設定 カラー設定
		MD_0000 三 表示文字列 コメント
		ARC 直接入力 テキスト表示 回覧メッセージ
<u>ד</u>	キスト表示ワー	テキスト番号指定 テキスト番号ワードアドレス 2015年
ド	アドレス	
		ヘルプ(H) OK(Q) キャンセル
		МЕМО
		 メッセージ表示器[テキスト表示]の設定は、[テキスト番号指定]を[アドレ
		人」、「テーダ形式」は[Bin] にしてくたさい。
オ	フセット	リンス小画画番号のオブビット値をし~ 8999 C設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号 + オフセット値の番号のテキストが表示さ
消	去用テキスト番	[アフーム設定] の [サフ表示画面畓亏] が ' 0 」のアラームメッセージを選択した 場合、ここで指定したテキストを呼び出して、前に表示しているテキストを消去
号		します。消去用に作成したテキスト(例えば何も入力していないテキストなど) の番号を1~ 8999 で設定します。

設定項目	設定内容		
	動画表示器を配置したベース画面に切り替えます。通常の画面切り替えと同じ動作 になります。		
	▶ サブ表示を使用する		
	サブ表示タイプ ベース画面 ・		
[ベース画面] - [動画 再生]	動作設定 動画再生 ▼		
	動画表示ワードアドレス [L#INTERNAL]LS0000 Em		
動画表示ワードア ドレス	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]で設定した番号を格納するための、GP 内部デバイス(LSエリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格 納された番号が、動画表示器に表示する動画ファイルのインデックス番号となり ます。 動画表示器の[再生コントロールワードアドレス]にも、同じアドレスを設定し ます。 参画表示器 ● 動画表示器 ● 動画表示器 ● 「単生ントロールワードアドレス]にも、同じアドレスを設定し ます。 ● し ● 「弾(),000 ● 「単生ントロールワードアドレス]にも、同じアドレスを設定し ● し ● 「「/4 ● 「1/4 ● 「1/		
	MEMO ・ 動画表示器 [再生方法] は、[リピート再生]、[自動再生]、[順次再生] を チェックなし、[エラー処理] を [停止] に設定してください。		
オフセット	サブ表示画面番号のオフセット値を 0 ~ 99 で設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号 + オフセット値のインデックス番号の動画 ファイルが表示されます。		

設定項目		設定項目	設定内容		
[ウィンドウ] - [ウィ ンドウ切替]			アラームメッセージに対応したウィンドウ画面を表示します。		
			 ビサブ表示を使用する サブ表示タイプ ウィンドウ 動作設定 ウィンドウ切替 画面の種類 ウィンドウ画面 		
		/ドウ] - [ウィ 切替]	オフセット 🛛 🚍 🌉		
			 ▼ ダイレクト選択 ▼ カーソル表示 ウインドウ設定 ウインドウ コントロール アドレス [#INTERNAL]LS0000 ウインドウ登録番号 		
	オ	フセット	サブ表示画面番号のオフセット値を 0 ~ 2000 で設定します。[アラーム設定]の [サブ表示画面番号]で設定した番号 + オフセット値の番号の画面が表示されま す。		
	ゥ	ィンドウ設定	アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品を表示する設定を行います。		
		ウィンドウコ ントロールア ドレス	ウィンドウの表示をコントロールするアドレスを指定します。指定したアドレス から自動的に4ワード分が使用されます。GP内部デバイス(LSエリア、ユー ザーエリア)のアドレスのみ設定できます。 ここで指定したアドレス+1のアドレスに、[アラーム設定]の[サプ表示画面番 号]で設定した番号が書き込まれ、表示するウィンドウ画面番号として扱われま す。 アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコントロール アドレス]にも、同じアドレスを設定します。 ^{(3P*} 「12.7.2 ワード動作」(12-23 ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。		

設定項目	設定内容
[ウィンドウ] - [図形 表示切替]	ウィンドウ画面に配置した図形表示器に、アラームメッセージに対応した図形を 表示します。
図形表示ワードア ドレス	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]で設定した番号を格納する GP 内部デバイス (LS エリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格納された番号が、図形表示器に表示する画面番号となります。 ウィンドウ画面に配置した図形表示器の[ワードアドレス]にも、同じアドレスを設定します。 ジレードアドレス (DF)(アドレス) にも、同じアドレスを設定します。 ジレードアドレス (DF)(F表示を)(FP)(DA)(F表示(FA))(FA)(FA))(FF)(FA)(FA)(FA))(FA)(FA)(
オフセット	サブ表示画面番号のオフセット値を0~9999で設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号+オフセット値の番号の画面が表示されま す。

	設定項目		設定内容
	消去	去用ベース番号	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]が「0」のアラームメッセージを選択した場合、ここで指定したベース画面を呼び出して、前に表示している画面を消去します。消去用に作成した画面(例えば黒の塗り込み四角形を描画するなどした画面)の番号を1~9999で設定します。
	ゥ	ィンドウ設定	アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品を表示する設定を行います。
図形表示切替		ウィンドウコ ントロールア ドレス	ウィンドウの表示をコントロールするアドレスを指定します。指定したアドレス から自動的に4ワード分が使用されます。GP内部デバイス(LSエリア、ユー ザーエリア)のアドレスのみ設定できます。 アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコントロール アドレス]にも、同じアドレスを設定します。 ^{GP} 「12.7.2 ワード動作」(12-23ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。
		ウィンドウ登 録番号	表示したいウィンドウ画面(図形表示器を配置したウィンドウ)の番号を1~ 2000 で指定します。この番号が、指定した[ウィンドウコントロールアドレス] + 1 のアドレスに書き込まれます。

設定項目	設定内容
	ウィンドウ画面に配置したメッセージ表示器 [テキスト表示]に、アラームメッ セージに対応したテキストを表示します。
[ウィンドウ] - [テキ スト表示切替]	 ✓ サブ表示を使用する サブ表示タイプ ウィンドウ ▼ 動作設定 ラキスト表示切替 ▼ 画面の種類 テキスト デキスト表示ワードアドレス [#INTERNAL]LS0000 ● オフセット □ 通知 満去用テキスト番号 □ ジ ダイレクト選択 マ カーソル表示 ウィンドウ コントロール アドレス (#INTERNAL]LS0000 ● (#INTERNAL]LS0000 (#INTERNAL]LS0000
テキスト表示ワー ドアドレス	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]で設定した番号を格納する GP 内部デバイス (LS エリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格納された番号が、メッセージ表示器に表示するテキスト番号となります。 ウィンドウ画面に配置したメッセージ表示器の[テキスト番号ワードアドレス] にも、同じアドレスを設定します。 ジレージ表示器 (素示設定)カー設定 「デキスト番号"(アドレス)ですない、「デキスト番号"(アドレス)では、「デキスト番号"(アドレス)です。 「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」
オフセット	サブ表示画面番号のオフセット値を0~8999で設定します。[アラーム設定]の [サブ表示画面番号]で設定した番号+オフセット値の番号のテキストが表示さ れます。

設定項目		設定項目	設定内容
	消去用テキスト番 号		[アラーム設定]の[サプ表示画面番号]が「0」のアラームメッセージを選択した 場合、ここで指定したテキストを呼び出して、前に表示しているテキストを消去 します。消去用に作成したテキスト(例えば何も入力していないテキストなど) の番号を1~8999で設定します。
	ウイ	ィンドウ設定	アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品を表示する設定を行います。
テキスト表示切替		ウィンドウコ ントロールア ドレス	ウィンドウの表示をコントロールするアドレスを指定します。指定したアドレス から自動的に4ワード分が使用されます。GP内部デバイス(LSエリア、ユー ザーエリア)のアドレスのみ設定できます。 アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコントロール アドレス]にも、同じアドレスを設定します。 ^{GP} 「12.7.2 ワード動作」(12-23ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。
		ウィンドウ登 録番号	表示したいウィンドウ画面(メッセージ表示器を配置したウィンドウ)の番号を 1~2000で指定します。この番号が、指定した[ウィンドウコントロールアドレス]+1のアドレスに書き込まれます。

設定項目	設定内容
[ウィンドウ] - [動画 再生]	ウィンドウ画面に配置した動画表示器をサブ表示します。 マサブ表示を使用する シ基本 サブ表示タイプ ウィンドウ 動作設定 動画再生 画面の種類 動画ファイル 動画表示ワードアドレス [#INTERNAL]LS0000 オフセット ア マ ダイレクト選択 マ カーソル表示 ウィンドウ コントロール アドレス [#INTERNAL]LS0000 ウィンドウ 登録番号 デ 第10000 ア ウィンドウ登録番号 デ
動画表示ワードア ドレス	[アラーム設定]の[サブ表示画面番号]で設定した番号を格納するための、GP 内部デバイス(LS エリア、ユーザーエリア)のアドレスを指定します。ここに格 納された番号が、動画表示器に表示する動画ファイルのインデックス番号となり ます。 動画表示器の[再生コントロールワードアドレス]にも、同じアドレスを設定し ます。
オフセット	サプ表示画面番号のオフセット値を 0 ~ 99 で設定します。[アラーム設定]の [サプ表示画面番号]で設定した番号 + オフセット値のインデックス番号の動画 ファイルが表示されます。

設定項目		設定項目	設定内容
	ゥ	ィンドウ設定	アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品を表示する設定を行います。
動画再生		ウィンドウコ ントロールア ドレス	ウィンドウの表示をコントロールするアドレスを指定します。指定したアドレス から自動的に4ワード分が使用されます。GP内部デバイス(LSエリア、ユー ザーエリア)のアドレスのみ設定できます。 ここで指定したアドレス+1のアドレスに、[アラーム設定]の[サプ表示画面番 号]で設定した番号が書き込まれ、表示するウィンドウ画面番号として扱われま す。 アラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコントロール アドレス]にも、同じアドレスを設定します。 ^{CGP} 「12.7.2 ワード動作」(12-23 ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。
		ウィンドウ登 録番号	表示したいウィンドウ画面(動画表示器を配置したウィンドウ)の番号を1~ 2000 で指定します。この番号が、指定した[ウィンドウコントロールアドレス] +1のアドレスに書き込まれます。

МЕМО	・ ダイレクトアクセス方式で接続機器と通信している場合、GP の内部デバイスは
	[LS] エリアと [USR] エリアの 2 つの領域で構成されています。LS エリア内の使用
	できるアドレスについては、以下を参照してください。
	「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用)」(A-7 ページ)

スイッチ設定

ア	ラー	ムメ	ッセー	シ	の表示を操作す	るスイ	ィッチ	を設定します。
---	----	----	-----	---	---------	-----	-----	---------

🏄 アラーム	X
部品ID	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状
AD 0000 🚊	■ スイッチ 選択
אַעאַב_	
	終了 「フリーズモード
	☑ 終了 えイッチ銘板
ADC.	確認 フォントタイプ 標準フォント ▼
MDU	
形状選択	
	IM 上移動
	クリア 枠カラー □7 ▼ プリンク 無し ▼
	▼ クリア 表示カラー ■2 ▼ プリンク 無し ▼
	▼ 全クリア パターン パターン無 ▼
	「 復旧アラームクリア
	□ 全復日アラームクリア
77. 1.70.43.	
/フーム宣称	
<u> ヘルプ(H)</u>	OK((2) キャンセル

MEMO

ここで設定するスイッチと同様のスイッチを、スイッチランプ部品 [特殊スイッチ]
 [アラーム履歴用スイッチ]でも作成できます。

- 「10.15.4 特殊スイッチ スイッチ機能 アラーム履歴用スイッチ」(10-69 ページ)
- 可視アニメーションを設定している場合、アラーム部品が不可視に切り替わると、 設定したスイッチも不可視になります。

^{☞ 「20.3} オブジェクトの表示 / 非表示を必要に応じて切り替えたい」(20-8 ページ)

設定項目		設定内容
ス・	イッチプレビュー	選択しているスイッチの形状を表示します。
形	犬選択	シェイプブラウザが開き、部品の形状を選択できます。
ス・	イッチの種類	スイッチの種類を設定します。
	開始・終了	操作の開始・終了のスイッチを設定します。
	開始・終了	[開始]をタッチするとカーソルが表示され、その他のスイッチを操作できます。 [終了]をタッチするとカーソルが消えます。 03/12/15 20:23 圧力異常 開始 終了 開始 終了
		次のページに続きます。



設定項目			設定内容
	クリ	リア	表示を消去するスイッチを設定します。接続機器 (PLC など) のビットやワード データはクリアされません。
スイッチの種類		クリア	[クリア]をタッチすると、カーソル位置のアラームメッセージの表示を消去し ます。 日付 発報 メッセージ 確認 復旧 03/12/15 20:23 圧力異常 クリア クリア
		全クリア	[発報]、[確認]、[復旧]の状態にかかわらず、表示されているすべてのアラー ムメッセージを消去します。
		復旧アラーム クリア	カーソル位置の復旧したアラームメッセージを消去します。カーソル位置のア ラームメッセージが復旧状態でなければ消去されません。
		全復旧アラー ムクリア	すべての復旧状態のアラームメッセージを消去します。
		確認アラーム クリア	カーソル位置の確認されたアラームメッセージを消去します。カーソル位置のア ラームメッセージが確認状態でなければ消去されません。
		全確認アラー ムクリア	すべての確認されたアラームメッセージを消去します。
		発生回数個別 クリア	カーソル位置のアラームメッセージの発生回数を消去し、「0」を表示します。
		発生回数全ク リア	カウントしていたすべての発生回数を消去し、「0」を表示します。
		累積時間個別 クリア	カーソル位置のアラームメッセージの発生累積時間を消去し、「0」を表示しま す。
		累積時間全て クリア	カウントしていたすべての発生累積時間を消去し、「0」を表示します。
	並て	が替え	 アラームメッセージを並び替えるスイッチを設定します。 MEMO 表示モードが[ログ]の場合は動作しません。 画面上の表示が並び替わっても、アラーム履歴データの印刷や CF カード保存 はアラームの発生日付順となります。
		発生日時の新 しい順	アラームが発生した順番にスクロール方向に従ってアラームメッセージを表示し ます。
		発生回数の <i>多</i> い順	アラームの発生回数が多いものから順番にスクロール方向に従ってアラームメッ セージを表示します。 MEMO ・同じ発生回数のアラームが存在する場合は、その中で累積時間の多いものから 順番にスクロール方向へ表示します。同じ発生回数で同じ累積時間の場合、履 歴の新しい順にスクロール方向へ表示します。

	設定項目		設定内容
		累積時間の長 い順	 アラームの発生時間の累積時間が長いものから順番にスクロール方向に従ってア ラームメッセージを表示します。 MEMO ・同じ累積時間のアラームが存在する場合は、その中で発生回数の多いものから 順番にスクロール方向へ表示します。同じ発生回数で同じ累積時間の場合、履 歴の新しい順にスクロール方向へ表示します。
	並び替え	レベル高&発 生日時の新し い順	各アラームメッセージに登録されたレベルの高いものから順番にスクロール方向に 従ってアラームメッセージを表示します。同レベルのアラームメッセージが存在す る場合、アラームの発生日時の新しいものから順番にスクロール方向へ表示します。
スイッチの種類		レベル高&発 生回数多い順	 各アラームメッセージに登録されたレベルの高いものから順番にスクロール方向に従ってアラームメッセージを表示します。同レベルのアラームメッセージが存在する場合、アラームの発生回数の多いものから順番にスクロール方向へ表示します。 MEMO 同じ発生回数のアラームが存在する場合は、その中で累積時間の多いものから順番にスクロール方向に従ってアラームメッセージを表示します。
		アラーム登録 順	[アラーム設定] に登録された No(行番号)の小さい順番にスクロール方向に 従って表示します。
		逆順表示	並び替え表示を逆の順番で表示します。
	スク	フロール	[アドレス]列専用のスクロールスイッチを設定します。
		データ値右ス クロール	取得したデータ値を右方向へスクロールして表示します。 日付 発報 メッセージ アドレス1 07/07/02 20:14 コンベア停止 OFF 07/07/02 20:2 圧力異常 100 07/07/02 20:14 電圧異常 150
		データ値左ス クロール	取得したデータ値を左方向へスクロールして表示します。 日付 発報 メッセージ アドレス2 07/07/02 20:14 コンベア停止 ON 07/07/02 20:2 圧力異常 110 07/07/02 20:14 電圧異常 100 07/07/02 20:14 電圧異常 150 マバロア/02 20:14 電圧異常 150 マバロア/02 20:14 電圧異常 150
	サフ	ブ表示	サプ表示のスイッチを設定します。
		サブ表示	カーソル位置のアラームメッセージに登録されているサブ画面を表示します。
	アラ	ラーム No. 取得	アラーム No. 取得のスイッチを設定します。
		アラーム No. 取得	カーソル位置のアラームメッセージの No([アラーム設定]で登録されている行 番号)を取得します。
	ラク	ダーモニタ起動	ラダーモニタ起動のスイッチを設定します。
		ラダーモニタ 起動	ラダーモニタ(別売品)がインストールされている場合に、カーソル位置のア ラームに該当するデバイスアドレスを使用しているステップを検索して、ラダー モニタ画面を起動します。

設定項目		設定内容					
スイッチ選択		銘板やスクロール数を設定するスイッチを選択します。					
ス?	フロール数	[ロールアップ]、[ロールダウン]スイッチを配置する クロールさせる数を1 ~ 768 で設定します。	,場合、一度	きのタッチで	ごス		
		[開始]スイッチを配置した場合に、フリーズモードを します。フリーズモードとは、アラームの表示を現在の の更新を行わないモードです。アラームが頻繁に発報 どに一時的に表示を止めて見ることができます。 フリーズモードを設定した場合、[開始]を2回タッチ なり、[終了]をタッチするとフリーズモードが解除さ フリーズモードの状態で各操作をした場合の処理と表示 す。	使用するかの状態でスし、表示が するとフリれます。 示は以下の	ンどうかを指 トップし、 見にくい場 ーズモート ようになり	锭 示な に ま		
		動作・スイッナ操作 アラーム:発報、復旧	処埋				
		スイッチ操作:[確認]、[クリア]		×			
יכ	リーズモード	スイッチ操作:[上移動]、[下移動]、[ロールアップ]、 [ロールダウン]、[ソート]、[サプ表示]					
		スイッチ操作:[アラーム No. 取得キー]		-			
		 MEMO フリーズモード中にクリアを実行した場合、フリーズは表示されていてもフリーズモードが解除されたときされていますのでご注意ください。 フリーズモード中にクリアされたメッセージは、メッもそのメッセージに対してサブ表示は行われません。 フリーズモード中にアラーム部品が不可視に切り替れは続行されます。フリーズモードを解除するには、ご替えます。 	ズモード状! きにはメッ・ ッセージが つっても、 アラーム部	態でメッセ セージはク 表示されて フリーズモ 品を可視に	ージア いて 「りり		
ス・	イッチ銘板	スイッチの銘板の文字列を設定します。					
	フォントタイプ	スイッチの銘板のフォントタイプを [標準フォント]、 ら選択します。	[ストロー	クフォント]か		
	表示言語	スイッチの銘板の言語を [日本語]、[欧米]、[中国語 体字)]、[韓国語]、[キリル文字]、[タイ語] から選	(繁体字) 択します。]、[中国語	(簡		
	文字カラー	スイッチの銘板での文字の色を設定します。					
		スイッチの銘板の文字列を入力します。					
	銘板	MEMO ・ スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字	列を直接編	集できます	0		

設定項目		設定内容			
スイ	イッチカラー	スイッチのカラーを設定します。			
	枠カラー	スイッチの色と枠の色を設定します。			
	表示カラー	MEMO • スイッチカラーの設定は1つのアラーム部品につき、どのスイッチの種類を選 択しても共通です。			
	ブリンク	点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[枠カラー]、[表示カラー]、 [パターンカラー]それぞれにプリンクの設定が可能です。 MEMO ・本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合が あります。 [☞] 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)			
	パターン	スイッチの柄を9種類から選択します。			
	パターンカラー	[パターン無]以外を指定した場合に、柄の色を指定します。			

カーソル形状

アラームメッセージを操作する場合、カーソル表示の形状を選択します。また、アラームメッセージ が確認されたことを接続機器 (PLC など)に知らせる場合のカーソル設定を行います。

💰 アラーム		×
部品ID AD_0001 三 コメント	基本設定 項目設定 カラー設定 表示設定 サブ表示設定 スイッチ設定 カーソル形状	
	カーソル位置 格納ワードアドレス 「カーソル移動ごとにカーソル位置を取得	
アラーム登録 へルプ(<u>H</u>)		

設定項目		設定内容
カ-	ーソル設定	アラームメッセージを操作する場合、カーソル表示の形状を選択します。
	カーソル形状	カーソルの形状を[上下]、[反転]から選択します。 上下 95/01/02 10:06 白タンク 圧力異常 95/01/01 12:00 第1ポンプ閉 反転 95/01/02 10:06 白タンク 圧力異常 95/01/01 12:00 第1ポンプ閉 カーソル
	ドット数	カーソル形状が[上下]の場合、カーソルの太さを[1ドット]、[2ドット]から 選択します。
力-	ーソル位置	カーソルで選択しているアラームメッセージの登録番号(行番号)を通知する設 定を行います。
	格納ワードアドレ ス	 選択しているアラームメッセージの登録番号(行番号)を格納するアドレスを設定します。 アラームメッセージを[ビット監視]で登録している場合は、登録番号(行番号)そのままの値が格納されます。[ワード監視]で登録している場合は、登録番号(行番号)+10000の値が格納されます。 例)ワード監視で、アラームメッセージの登録番号(行番号)が152の場合格納ワードアドレス]に格納される値=152+10000=10152 MEMO [フリーズモード]中は、クリアされたデータのカーソル位置の通知を行いません。
	カーソル移動ごと にカーソル位置を 取得	カーソルが移動するごとにアラームメッセージの登録番号(行番号)を[格納 ワードアドレス]に自動的に格納します。 MEMO ・カーソル移動ごとにカーソル位置の取得を指定しない場合、アラームカーソル 位置を通知するには[アラーム No 取得キー]スイッチが必要です。

サマリ表示

発報中のアラームメッセージをリスト表示します。

基本設定

アラームサマリ表示の形式を設定します。

💰 アラーム		×
部品ID AD_0000 <u>一</u> コメント	基本設定 カラー設定 表示設定 履歴表示 サマリ表示 東市大 サマリ表示 整視ワード数 単 表示文字数 34 表示行数 1 東示行数 1	
アラーム登録		
ヘルプ(<u>H</u>)		11

設定項目		設定内容
表示形式		アラームサマリ表示の形式を設定します。
	監視先頭ワードア ドレス	[アラーム設定]で設定したアラームメッセージの監視ビットの先頭アドレスを ワード単位で設定します。
	監視ワード数	監視ビットが何ワードにわたって割り付けられているかを1~100で設定します。 MEMO ・監視ワード数は、1ワード16ビットとして扱います。32ビットデバイスの場 合、監視ワード数は2の倍数(2,4,6)になるように設定してください。
	表示文字数	1行に表示させるアラームメッセージの最大文字数を半角1~160文字で設定します。



カラー設定

アラームメッセージが表示されていないときの色を設定します。(アラームメッセージの文字の色、 背景の色は[アラーム設定]で設定した色となります)

🏄 アラーム		×
部品ID AD_0001 …	基本設定 カラー設定 表示設定	
	クリアカラー 🔲 👤 プリンク 無し 💌	
アラーム登録		
へルプ(<u>H</u>)	OK(Q) +++>	en

設定項目	設定内容
	アラームメッセージがクリアされたとき(またはアラームメッセージが表示され ていないとき)の色を設定します。
クリアカラー	МЕМО
	 アラームメッセージの文字の色、背景の色は[アラーム設定]で設定した色となります。
	点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[クリアカラー]にプリンクの 設定が可能です。
プリンク	MEMO ・ 本体機種とシステム設定の [色数設定] によりブリンクを設定できない場合が あります。
	☞ 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

表示設定

表示するアラームメッセージのフォントや枠を設定します。

<i>参</i> アラーム	X
部品ID	基本設定 カラー設定 表示設定
	表示フォント設定
	フォントタイプ 標準フォント ▼ サイズ 8×16 ドット ▼
	• • •
751.登録 (
/ / ZA SZ PK	
<u>(H)</u>	OK(<u>©</u>)キャンセル

設定項目		設定内容
表示フォント設定		表示するフォントの設定を行います。
	フォントタイプ	表示するアラームメッセージのフォントタイプを [標準フォント]、[ストローク フォント] から選択します。
	サイズ	表示するアラームメッセージのフォントのサイズを選択します。 標準フォント:[8 × 8] ~ [64 × 128]まで横×縦を8ドット単位で指定するか、 [6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定します。固定 サイズは半角英数字のみ表示できます。 ストロークフォント:6 ~ 127
枠表示		アラームメッセージの枠表示を [枠なし]、 [外枠]、 [外枠 + 横罫線]から選択し ます。 MEMO ・枠および罫線の色は白固定です。

19.10.3 テキストアラーム部品の設定ガイド

テキストアラーム

テキスト画面に登録したメッセージを行単位で表示します。(共通設定[アラーム設定]での登録は必要ありません。)

テキスト画面にまとめて登録したメッセージの、必要な行だけを画面上にリスト表示します。各メッ セージにサブ表示をさせることもできるのでトラブルシューティングガイドに最適です。

☞ 「19.11.4 テキストアラーム部品の制限事項」(19-154 ページ)



ビットONでメッセージを表示、 ビットOFFで消去されます 基本設定

テキストに登録したアラームメッセージを表示する設定を行います。

💰 テキストアラーム	X
★ テキストアラーム 部品ID TD_0000 コメント ABC 形状選択	基本設定 カラー設定 サブ表示 スイッチ設定 監視ワードアドレス [PLC1]D00000 ● 宮視ワード数 ● ● フォントタイプ 標準フォント ● フォントサイズ アオント教プ マオントサイズ 8×8 ドット ● 丁オントサイズ ● 小枠・横罫線 デキスト番号 ● ● 小枠・横罫線 支示/開始行 □ ● ● 表示/行数 □ ● ● 支示/行数 □ ● ● 空白行表示 □ スクロール機能 ●
ヘルプ(円)	OK(Q) キャンセル

	設定項目	設定内容
		監視ビットの先頭アドレスをワード単位で設定します。監視ワードアドレスを設 定すると、表示するテキストの各行に監視ビットが1つずつ自動的に割り付けら れます。
監視ワードアドレス		15 0 17日 15 0 17日 16 0 17日 170 0 0 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 170 10 10 18 18 18 18 18 18
監視ワード数		監視ビットが何ワードにわたって割り付けられているかを1~32で設定します。 テキストに入力した行数に応じて設定してください。 デバイスアドレスが32ビットの場合、1アドレスで2ワードとなります。
フォ	・ント設定	表示するアラームメッセージのフォントの設定を行います。
	フォントタイプ	表示するアラームメッセージのフォントタイプを [標準フォント]、[ストローク フォント] から選択します。
	フォントサイズ	表示するアラームメッセージのフォントのサイズを選択します。 標準フォント:[8 × 8] ~ [64 × 128]まで横×縦を8ドット単位で指定するか、 [6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定します。固定 サイズは半角英数字のみ表示できます。 ストロークフォント:6 ~ 127
		テキストアラーム部品の罫線を [罫線無し]、 [外枠]、 [外枠 + 横罫線] から選択 します。
罫線表示		MEMO ・ 枠および罫線の色は白固定です。

設定項目		設定内容
テキスト番号		表示するテキスト番号を設定します。
	定数 / アドレス	表示するテキスト番号の指定方法を [定数]、[アドレス]から選択します。 定数 テキスト番号を固定の数値を書き込んで指定します。(直接指定) アドレス テキスト番号を格納するアドレスを指定します。(間接指定)
	テキスト画面番号	テキスト番号を1~ 8999 で設定します。
表示	示開始行	 発報しているアラームのうち、何行めから表示させるかを1~512行で設定します。 MEMO 「空白行表示]を設定している場合、表示できるのは空白行をふくめて 512 行までです。
表示	≂行数	1 画面に最高何行のアラームメッセージを表示するかを1~50行で設定します。
表示文字数		1行に表示させるアラームメッセージの最大文字数を半角1~100文字で設定します。
空白	1行表示	テキストに空白行がある場合、空白行をアラームメッセージとして表示するかど うかを設定します。
スクロール機能		スクロール機能を使用するかどうかを設定します。 スクロール機能を使用しない場合、カーソル移動用のスイッチをタッチしても表 示エリア外のメッセージにはスクロールされず、カーソル表示が消えます。 表示行数:3 メッセージ2 メッセージ2 メッセージ3 UP DOWN UP DOWN UP DOWN UP DOWN UP DOWN

カラー設定

表示するアラームメッセージのカラーを設定します。

💰 テキストアラーム	×
部品ID TD_0000 😭 コメント ABC 形状選択	基本設定 カラー設定 サブ表示 スイッチ設定 文字カラー クリンク 「7 ▼ 無し ▼ 背景カラー フリンク ■0 ▼ 無し ▼ クリアカラー ブリンク ■0 ▼ 無し ▼
ヘルプ(円)	OK(Q) キャンセル

設定項目	設定内容
文字カラー	表示するアラームメッセージの文字の色を設定します。
背景カラー	表示するアラームメッセージの背景の色を設定します。
クリアカラー	アラームメッセージがクリアされたとき(または表示されていないとき)の色を 設定します。
	点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[文字カラー]、[背景カラー]、 [クリアカラー]にブリンクの設定が可能です。
プリンク	 ▲体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合があります。 [☞]「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

サブ表示 / 基本

各アラームメッセージに対応したサブ画面を表示する設定を行います。

💰 テキストアラーム		×
部品ID	基本設定 カラー設定 サブ表示 スイッチ設定	
	▶ サブ表示を使用する	<u>>>詳細</u>
	サブ表示タイプ パー2 画面切替 🔍	
ADC		
ADC		
形状選択		
ヘルプ(円)	OK(Q) *	キンセル

設定項目	設定内容
サブ表示を使用する	サブ表示を行うかどうかを設定します。
	 サブ表示のタイプを選択します。 ベース画面切替 表示自体を他の画面に切り替えます。通常の画面切り替えと同じ動作になります。 テキストウィンドウ表示 テキストに登録した内容をウィンドウ表示します。
サブ表示タイプ	 ✓ サブ表示を使用する サブ表示タイプ テキスト先頭番号 ウィンドウサイズ ○ 大 ○ 小 注意:テキストは一行20文字以内で登録してください。
ベース画面先頭番号	[サブ表示タイプ]で[ベース画面切替]を選択した場合に、サブ表示で画面切り 替えする先頭ベース画面の番号を1 ~ 9999 で設定します。
テキスト画面先頭番号	[サブ表示タイプ]で[テキストウィンドウ表示]を選択した場合に、サブ表示さ せる先頭テキスト番号を1 ~ 8999で設定します。
ウィンドウサイズ	[サブ表示タイプ]で[テキストウィンドウ表示]を選択した場合に、テキストを 表示するウィンドウの大きさを[大]、[小]から選択します。 ■ ウィンドウ表示できるテキストの一行の文字数は以下のとおりです。 ウィンドウサイズ大:30文字以内 ウィンドウサイズ小:20文字以内

サブ表示 / 詳細

ベース画面やウィンドウ画面を切り替えてサプ表示したり、図形表示器やメッセージ表示器を使用し てベース画面上やウィンドウ画面上にサプ表示させる設定を行います。

麊 テキストアラーム		×
部品ID TD_0000 コメント ABC 形状選択	 基本設定 カラー設定 サブ表示 入イッチ設定 マ サブ表示を使用する サブ表示 ベース画面 ・ ・	
<u>(H)</u>	<u> </u>	キャンセル

設定項目	設定内容
サブ表示を使用する	サブ表示を行うかどうかを設定します。
サブ表示タイプ	 サブ表示のタイプを選択します。 ベース画面 表示自体を他の画面に切り替えたり、ベース画面上で図形やテキストを表示します。 ウィンドウ サブ画面をウィンドウ表示します。ウィンドウを切り替えて表示したり、ウィ ンドウ上に図形やテキストを表示します。
動作設定	 サブ表示の動作の種類を選択します。 (サブ表示タイプ)で[ベース画面]を選択した場合> ● 画面切替 ベース画面を切り替えてサブ表示します。 ・図形表示切替 図形表示器を使用してサブ表示します。 ・テキスト表示切替 メッセージ表示器を使用してサブ表示します。 く「サブ表示タイプ」で[ウィンドウ]を選択した場合> ・ウィンドウ切替 ウィンドウ画面を切り替えてサプ表示します。 ・図形表示切替 ウィンドウ画面上の図形表示器にサブ表示します。 ・テキスト表示切替 ウィンドウ画面上のメッセージ表示器にサブ表示します。

設定項	B	铅定内容
成之埃	H	WZ-138
[ベース画面] - [画面 切替]		表示自体を他の画面に切り替えます。通常の画面切り替えと同じ動作になります。
		Image: Market Part of the state of the
		動作設定
		先頭画面番号 画面の種類 ・ ベー2画面
	先頭画面番号	サブ表示させるベース画面の先頭番号を設定します。画面番号の指定方法を [定数]、[アドレス]から選択します。
先頭画面都		 と数 ベース画面の先頭番号を固定の数値を書き込んで指定します。設定範囲は1~ 9999 です。
		 アドレス ベース画面の先頭番号が格納されているワードアドレスを指定します。
		次のページに続きます。

設定項目	設定内容
	テキストアラーム部品と同じ画面上に配置した図形表示器に、アラームメッセー ジに対応した図形を表示します。
[ベース画面] - [図形 表示切替]	 ▼ サブ表示を使用する >>基本 サブ表示 ベース画面 ▼ 動作設定 図形表示切替 ▼ 先頭画面番号 画面の種類 : ベース画面 定数 ▼ 1 Ξ 重 図形表示ワードアドレス [PLC1]D00000 ▼ □
先頭画面番号	 図形表示器に表示するサプ表示用ベース画面の先頭番号を設定します。 画面番号の指定方法を[定数]、[アドレス]から選択します。 定数 図形表示する画面の先頭番号を固定の数値を書き込んで指定します。設定範囲は1~9999です。 アドレス 図形表示する画面の先頭番号が格納されているワードアドレスを指定します。
図形表示ワードア ドレス	図形表示器に表示する画面番号を格納するためのワードアドレスを設定します。 テキストアラーム部品と同じ画面上に配置した図形表示器の[ワードアドレス] と同じアドレスを設定します。 Image: State of the state of th

設定項目	設定内容
	テキストアラーム部品と同じ画面上に配置したメッセージ表示器に、アラーム メッセージに対応したテキストを表示します。
[ベース画面] - [テキ スト表示切替]	 ✓ サブ表示を使用する >>基本 サブ表示 ベース画面 ▼ 動作設定 テキスト表示切替 ▼ 先頭画面番号 画面の種類 : テキスト 定数 ▼ 1 □ □ ■ テキスト表示ワードアドレス [PLC1]D00000 ▼ □
先頭画面番号	メッセージ表示器に表示するサブ表示用テキストの先頭番号を設定します。 テキスト番号の指定方法を[定数]、[アドレス]から選択します。 ・定数 テキストの先頭番号を固定の数値を書き込んで指定します。設定範囲は1~ 8999です。 ・アドレス テキストの先頭番号が格納されているワードアドレスを指定します。
テキスト表示ワー ドアドレス	メッセージ表示器に表示するテキスト番号を格納するためのワードアドレスを設定します。 テキストアラーム部品と同じ画面に配置したメッセージ表示器の[テキスト番号 ワードアドレス]と同じアドレスを設定します。 ジャビージ表示器 ド レス]と同じアドレスを設定します。 ジャビージ表示器 ド 水溜沢 ド 水水 ド 、

		设定項目	設定内容
[ウィンドウ] - [ウィ ンドウ切替]		ドウ] - [ウィ 7替]	アラームメッセージに対応したウィンドウ画面を表示します。 ▼ サブ表示を使用する →基本 サブ表示 ウィンドウ 動作設定 ウィンドウ切替 ▼ た頭画面番号 画面の種類 : ウィンドウ画面 定数 ▼ 1 = ■ ウィンドウ設定 ・ ローカル ○ グローバル ウィンドウコントロールアドレス [PLC1]D00000 ▼ :
	先頭画面番号		サプ表示させるウィンドウ画面の先頭番号を設定します。 ウィンドウ画面番号の指定方法を[定数]、[アドレス]から選択します。 • 定数 サプ表示するウィンドウ画面の先頭番号を固定の数値を書き込んで指定しま す。設定範囲は1~2000です。 • アドレス サプ表示するウィンドウ画面の先頭番号が格納されているアドレスを指定しま す。
	ウィ	、ンドウ設定	ウィンドウの設定を行います。
		ローカル / グ ローバル	ローカルウィンドウを使用してサブ表示するか、グローバルウィンドウを使用し てサプ表示するかを指定します。 MEMO ・ グローバルウィンドウで表示する場合は「12.6.2 設定手順」(12-18 ページ)を 参照してください。[システム設定] - [本体設定]の[動作設定]タブで[グ ローバルウィンドウ動作]は[間接]、[データ形式]は[Bin]を設定します。 ウィンドウの表示 / 消去は LS16 で操作します。
		ウィンドウコ ントロールア ドレス	ローカルウィンドウでサプ表示する場合に、ウィンドウの表示をコントロールす るアドレスを指定します。指定したアドレスから自動的に4ワード分が使用され ます。 テキストアラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコン トロールアドレス]と同じアドレスを設定します。 ^{③ 『「12.7.2} ワード動作」(12-23ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。
設定項目	設定内容		
------------------------	--		
[ウィンドウ] - [図形 表示切替]	ウィンドウ画面上に配置した図形表示器に、アラームメッセージに対応した図形 を表示します。 ✓ サブ表示を使用する <u>少基本</u> サブ表示 ウィンドウ 動作設定 図形表示切替 マ た頭画面番号 画面の種類 : ベース画面 定数 マ 「 二 重 図形表示ワードアドレス [PLC1]D00000 マ @ ウィンドウ設定 ・ ローカル ○ グローバル ウィンドウコントロールアドレス [PLC1]D00000 マ @		
先頭画面番号	ウィンドウ画面上の図形表示器に表示するサブ表示用ベース画面の先頭番号を設定します。画面番号の指定方法を[定数]、[アドレス]から選択します。 定数 図形表示する画面の先頭番号を固定の数値を書き込んで指定します。設定範囲は1~9999です。 アドレス 図形表示する画面の先頭番号が格納されているワードアドレスを指定します。 		
図形表示ワードア ドレス	図形表示器に表示する画面番号を格納するためのワードアドレスを設定します。 ウィンドウ画面上に配置した図形表示器の[ワードアドレス]と同じアドレスを設定します。 ジロボタテネ 第品の 「PD,0000」 アンドラアレス アンドランセル		

次のページに続きます。

設定項目		設定内容
	ウィンドウ設定	ウィンドウの設定を行います。
図形表示切替	ローカル / / ローバル	ローカルウィンドウを使用してサブ表示するか、グローバルウィンドウを使用し てサブ表示するかを指定します。 MEMO ・ グローバルウィンドウで表示する場合は「12.6.2 設定手順」(12-18 ページ)を 参照してください。[システム設定] - [本体設定]の[動作設定]タブで[グ ローバルウィンドウ動作]は[間接]、[データ形式]は[Bin]を設定します。 ウィンドウの表示 / 消去は LS16 で操作します。
	ウィンドウ 面番号	■ サブ表示で使用するウィンドウ画面番号を 1 ~ 2000 で指定します。
	ウィンドウ ントロール ドレス	ローカルウィンドウでサブ表示する場合に、ウィンドウの表示をコントロールす るアドレスを指定します。指定したアドレスから自動的に4ワード分が使用され ます。 テキストアラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコン トロールアドレス]と同じアドレスを設定します。 ^⑦ ^⑦ 「12.7.2 ワード動作」(12-23 ページ) MEMO • ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。
[ウィンドウ] - [テキ スト表示切替]		 ウィンドウ画面上に配置したメッセージ表示器に、アラームメッセージに対応したテキストを表示します。 ● サブ表示を使用する シ基本 サブ表示 ウィンドウ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	先頭画面番号	ウィンドウ画面上のメッセージ表示器に表示するサブ表示用テキストの先頭番号 を設定します。 テキスト番号の指定方法を[定数]、[アドレス]から選択します。 ・ 定数 テキストの先頭番号を固定の数値を書き込んで指定します。設定範囲は1~ 8999です。 ・ アドレス テキストの先頭番号が格納されているワードアドレスを指定します。

設定項目		設定内容
テキスト表示切替	テキスト表示ワー ドアドレス	メッセージ表示器に表示するテキスト番号を格納するためのワードアドレスを設定します。ウィンドウ画面上に配置したメッセージ表示器の[テキスト番号ワードアドレス]と同じアドレスを設定します。
	ウィンドウ設定	ウィンドウの設定を行います。
	ローカル / グ ローバル	ローカルウィンドウを使用してサプ表示するか、グローバルウィンドウを使用し てサプ表示するかを指定します。 MEMO ・ グローバルウィンドウで表示する場合は「12.6.2 設定手順」(12-18 ページ)を 参照してください。[システム設定] - [本体設定]の[動作設定]タプで[グ ローバルウィンドウ動作]は[間接]、[データ形式]は[Bin]を設定します。 ウィンドウの表示 / 消去は LS16 で操作します。
	ウィンドウ画 面番号	サブ表示で使用するウィンドウ画面番号を1 ~ 2000 で指定します。
	ウィンドウコ ントロールア ドレス	ローカルウィンドウでサブ表示する場合に、ウィンドウの表示をコントロールす るアドレスを指定します。指定したアドレスから自動的に4ワード分が使用され ます。 テキストアラーム部品と同じ画面に配置したウィンドウ部品の[ウィンドウコン トロールアドレス]と同じアドレスを設定します。 「「12.7.2 ワード動作」(12-23ページ) MEMO ・ ウィンドウ部品の[ウィンドウ指定]は[アドレス]、[データ形式]は[Bin]で 設定してください。

スイッチ設定

アラームメッセージの表示を操作するスイッチを設定します。サブ表示を行う場合、どのメッセージ のサブ表示をするか指定するために操作スイッチが必要です。

💣 テキストアラーム	×
★ テキストアラーム 部品ID TD_0000 コメント ABC 正形状選択	× 基本設定 カラー設定 サブ表示 スイッチ設定 スイッチ配置 マ 上移動 マ 下移動 マ サブ表示 ロールグウン ロールグウン ロールグウン 常終了 スイッチ銘板 フォントタイブ 標準フォント ▼ 2 歳沢 上移動 ▼ 東示言語 日本語 ▼ 文字カラー ? ▼ ブリンク 無し ▼ 表示カラー ? ▼ ブリンク 無し ▼ 表示カラー ? ▼ ブリンク 無し ▼
(H)	



設定項目		設定内容
スイッチ銘板		スイッチの銘板を設定します。
	フォントタイプ	スイッチの銘板のフォントタイプを [標準フォント]、[ストロークフォント] か ら選択します。
	表示言語	スイッチの銘板の言語を [日本語]、 [欧米]、 [中国語(繁体字)]、 [中国語(簡 体字)]、 [韓国語]、 [キリル文字]、 [タイ語] から選択します。
	文字カラー	スイッチの銘板での文字の色を設定します。
	スイッチ選択	銘板を設定するスイッチを選択します。
	銘板	銘板の文字列を入力します。
		МЕМО
		• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。
		スイッチの色を設定します。
ス・	イッチカラー	МЕМО
		 スイッチカラーの設定は1つのテキストアラーム部品につき、どのスイッチの 種類を選択しても共通です。
	枠カラー	スイッチの枠の色を設定します。
	表示カラー	スイッチの色を設定します。
	パターン	スイッチの柄を9種類から選択します。
	パターンカラー	[パターン無]以外を選択した場合に、柄の色を設定します。
	ブリンク	点滅表示の有無および点滅の速さを指定します。[枠カラー]、[表示カラー]、 [パターンカラー] それぞれにブリンクの設定が可能です。
		МЕМО
		 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合が あります。
		☞ 8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

MEMO	• スイッチごとに形状や色を変えたい場合は、スイッチランプ部品の特殊スイッチ
	(テキストアラーム用スイッチ)で作成できます。
	^{ເᡒ≌} 「10.15.4 特殊スイッチ スイッチ機能 テキストアラーム用スイッチ」(10- 70 ページ)
	・ [基本設定]タブで[スクロール機能]を設定していない場合は、[上移動]、[下移
	動]、[ロールアップ]、[ロールダウン] スイッチをタッチしてもスクロール表示さ

れません。表示エリア内でのみカーソルが移動します。

19.11 制限事項

19.11.1 アラーム履歴の印刷の制限事項

印字フォーマット設定の[発報カラー]、[確認カラー]、[復旧カラー]で白黒以外を設定している場合や、印字文字数が用紙サイズの幅に収まらない場合、プリンタによっては正常に印字されないことがあります。

[リアルタイム印字]の場合

- 「メッセージ」、「日付」、「発報」などの項目名は印字されません。
- GP はアラームメッセージ(流れ表示)、アラーム履歴の印刷情報を最大 1000 個まで記憶できます。GP とプリンタが未接続の場合は、GP に最大 1000 個まで記憶され、印字待ち状態になりますが、1000 個を超えたメッセージは記憶されません。
- 印字中に紙切れなどでプリンタがオフライン状態になった場合は、GPの電源を切らずにプリンタの処置を行い、プリンタをオンラインにしてください。オフライン中に GP に記憶された印刷情報はオンラインになった時点でプリンタに送り出されます。
- 印字中にプリンタの電源が切れると、その間に GP から送り出された情報は印字されません。
- 使用するプリンタによっては、リアルタイム印字を行っても1行ずつの印字ができない場合があ ります。そのプリンタが1行ごとの紙送りに対応していないためです。
- リアルタイム印字では、データ値は印字されません。
- [一括印字]の場合
- 印字の最中に発生したアラームの発報や復旧などは印字されません。印字開始時のアラームの情報が印字されます。
- 印字の最中に GP の電源を OFF すると、次の電源 ON 時に続きから印字は再開されません。GP の 電源 ON 時に印字のトリガビットが ON の場合は、最初から印字が開始されます。
- 印字のトリガビットが ON から OFF に、または OFF から ON になるまでの間は、通信サイクルタ イム¹、または表示スキャンタイム²のいずれか長い方の時間以上保持してください。
- [アラーム設定]の[共通設定]タブで設定したアラームの記憶数が「0」の場合や、アラームがま だ発報していない場合は「メッセージ件数0」と印字されます。
- [アラーム設定]の[共通設定]タブで設定したアラームの記憶数が「0」の場合は、[完了ビット] は ON されません。
- 「メッセージ」、「日付」、「発報」などの項目名は、最初の2行分のみ印字されます。ただし、印字 する行が多く複数ページにまたがる場合でも項目名の印字は最初の1ページのみとなります。
- 「メッセージ」、「日付」、「発報」などの項目名は、アラームメッセージの言語が日本語の場合は日本語で、日本語以外(欧米、韓国語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、キリル文字、タイ語)の場合は項目名がすべて英語で出力されます。



- 1 通信サイクルタイムとは、GPから接続機器にデータを要求して取り込むまでの時間です。内 部デバイスのLS2037 にバイナリデータで格納されます。単位は 10ms です。
- 2 表示スキャンタイムとは、1 画面の表示・演算処理にかかる時間です。内部デバイスの LS2036 にバイナリデータで格納されます。単位は ms です。

19.11.2 サブ表示設定 / 詳細の制限事項

- サブ表示で使用するメッセージ表示器 [テキスト表示]、図形表示器 [ステート表示]のワードアドレスおよびウィンドウ部品のウィンドウコントロールアドレスは、内部デバイス(LSエリア、ユーザーエリア)のアドレスのみ設定できます。
- カーソル移動とサブ表示は連動していません。カーソルが移動してもサブ表示はそのままです。
- サブ表示は自動で消去されません。またサブ表示中のアラームメッセージがクリアされた場合で もサブ表示は残っている状態です。ただし画面切り替えを行った場合は、サブ表示用の図形表示 器[ステート表示]、メッセージ表示器[テキスト表示]、ウィンドウコントロールアドレスには 「0」が書き込まれ、サブ表示は消去されます。
- サブ表示を行う場合、アラーム部品(履歴表示)はベース画面1枚につき1個のみ設定できます。
 アラーム部品(履歴表示)が複数個設定されている場合、サブ表示は行われません。
- [ダイレクト選択]を設定している場合、タッチパネルのキャリブレーション設定 ¹ やメッセージの表示行間ドット数などによって、タッチが効きにくい場合があります。
- サブ表示設定で[動画再生]を使用しているときは、アラーム設定で指定するサブ表示画面番号が、[動画表示器]で再生する動画ファイルのインデックス番号になります。0 ~ 99 で設定してください。

サブ表示画面番号に「0」を指定すると、動画ファイルのインデックス番号「0」の再生を指定したことになります。サブ表示を必要としないアラームについては、サブ表示画面番号に「9999」を指定してください。

また、存在しない動画ファイルのインデックス番号が指定された場合は停止状態になります。

- 動画再生には、指定した[再生コントロールワードアドレス]のビット8(強制再生ビット)を使用します。再生を停止する場合は、通常の停止ではなく、強制再生ビットを OFF するようなスイッチを作成するなどの設定をしてください。
- ビデオ表示のビットが ON のときは、アラームのサブ表示よりもビデオ表示が優先されます。ア ラームのサブ表示は隠れていますが再生はされているため、ビデオ表示を OFF にすると、経過時 間分進んだところから再生されます。
- テキストウィンドウ表示のウィンドウサイズは、表示されるウィンドウの大きさで[大]と[小]の2種類がありますが、下記の機種²でウィンドウサイズを[大]に設定した場合、GP上でウィンドウが完全に表示されません。これらの機種では、ウィンドウサイズの設定を必ず[小]にしてください。
 GP-3200 シリーズ/GP-3300 シリーズ/ST-3200 シリーズ/ST-3300 シリーズ/

LT-3200 シリーズ /LT-3300 シリーズ

- 1 タッチパネルのタッチ部分と表示部分の設定が合うように調整することです。GP本体で設定できます。
- 2 画面の表示ドット数が「320 × 240 ドット(QVGA)」ではない機種は除きます。表示ドット 数は、以下を参照してください。
 「5.17.6[システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [機種設定]の設定ガイド」(5-142 ページ)

19.11.3 複数台の GP で外部操作する際の制限事項

複数の GP に対して一度に外部操作を実行させることができます。ただし、各 GP の読み出すタイミ ングなどによりタイムラグが生じ、それぞれの処理および [完了ビット] が ON になる順番は異なり ます。操作コードのセットは、すべての GP の [完了ビット] が OFF であることを確認してから行っ てください。

また操作コードを 0 クリアする際は、すべての GP の [完了ビット] が ON になったことを確認して から行ってください。

例)

複数台の GP (GP1、GP2) で外部操作の[コントロールワードアドレス] に同じアドレスを設定し、 [完了ビット] は GP ごとに別々のアドレスを設定しておきます。



接続機器から[コントロールワードアドレス]に操作コードとアラーム種類をセットします。 接続機器からの命令により GP1 号機、GP2 号機の処理を行います。 GP1 号機、GP2 号機のそれぞれの処理完了後に[完了ビット]が ON になります。 接続機器からはすべての GP の[完了ビット]が ON になることを確認します。 接続機器から[コントロールワードアドレス]の[操作コード]を「0」(操作しない)にしま す。 GP は[コントロールワードアドレス]の[操作コード]が「0」になると、[完了ビット]を OFF にします。

接続機器はすべての GP の [完了ビット]が OFF になったことを確認します。

 ● 手順の途中で電源が OFF された場合などを考慮して、運転開始時に[コントロール ワードアドレス]を0クリア、すべての[完了ビット]を OFF しておくなどの処理 を行ってください。
 ● 接続機器からそれぞれの GP に操作を行っている間に、アラームの発報、復旧など の状態に変化があった場合は各 GP で同じ発報、復旧の状態にならない場合があり ます。
 ● [アラーム設定]の[共通設定]で[印字設定]を[リアルタイム印字]に設定してい る場合、外部操作でブロック内の全確認を行うと、[ヒストリ]→[ログ]→[アク ティブ]の順番で確認処理が行われます。[ヒストリ]、[ログ]で同じメッセージが

字されるので同じメッセージの確認印字を2度行います。

登録されている場合、ヒストリの確認時とログの確認時それぞれでリアルタイム印

19.11.4 テキストアラーム部品の制限事項

- テキストアラーム部品はベース画面に1つにつき、1個のみ設定できます。1つの画面に複数表示したい場合は、テキストアラーム部品を配置したウィンドウ画面で表示してください。
- 1行の最大表示文字数は、GPの機種および文字サイズの設定によって決まります。
- 設定された表示エリアに収まりきらない長さのアラームメッセージがあった場合、あふれた部分 は表示されませんのでご注意ください。
- テキストアラーム部品に表示するテキスト番号を運転中に切り替えると、表示中のカーソルやサ プ表示は消去されます。
- 1度に多数のアラームが発生する場合、複数画面にテキストアラーム部品を配置して[表示開始 行]を次のように指定すると、画面を切り替えることで多数のアラームメッセージを表示できます。
 - 1 画面め:開始行(通常は「1」)
 - 2 画面め:1 画面当たりの表示行数+開始行
 - n 画面め:1 画面当たりの表示行数×(n-1)+開始行
- サブ表示として扱うベース画面番号またはテキスト番号は、アラームメッセージを登録したテキ ストの行の順番と揃え、連続した番号で作成してください。
- サブ表示で使用するベース画面やテキストは(監視ワード数×16)+1の画面数を使用します。こ れらの画面は他の用途には使用できません。
- サブ表示中にカーソルが消去された場合(カーソルを表示エリア外に移動したり「終了」スイッチをタッチした場合など)、サブ表示も消去されます。
- 指定した[先頭画面番号]+(監視ワード数×16)が、サブ表示を消去するための消去用ベース 画面番号または消去用テキスト番号となります。
 例えば先頭画面番号が「100」、監視ワード数が「1」の場合、画面番号100~115がサブ表示用画 面、画面番号116が消去用画面となります。
- メッセージ表示器[テキスト表示]を使用してサブ表示している場合、消去用テキストを用意していなかった場合は、メッセージ表示器で設定した[クリアカラー]で消去されます。
- サブ表示をしたまま画面切り替えを行った場合、サブ画面は消去されます。GP はサブ表示用の図 形表示器[ステート表示]、メッセージ表示器[テキスト表示]、ウィンドウ部品の指定ワードア ドレスに「0」を書き込みます。
- サブ表示する[先頭画面番号]を[アドレス]で設定している場合、サブ表示している状態で先頭 画面番号を変更しないでください。うまく表示できない場合があります。
- サブ表示の際、通信に時間のかかることがあります。

19.12 アラーム機能一覧

